

## 横浜市処遇改善等加算取扱要領

制 定 平成27年4月1日 こ保運第1号（副市長決裁）

最近改正 令和7年12月23日 こ保給第857号（局長決裁）

この要領は、次の1・2の加算（以下「処遇改善等加算」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

- 1 横浜市における保育・教育に係る給付費等取扱要綱（以下「給付費要綱」という。）に定める処遇改善等加算
- 2 横浜市における保育・教育に係る向上支援費等取扱要綱（以下「向上支援費要綱」という。）に定める次の加算
  - (1) 職員配置加算の処遇改善等加算（区分1）分及び処遇改善等加算（区分2）分
  - (2) 職員配置加算（休日）の処遇改善等加算（区分1）分及び処遇改善等加算（区分2）分
  - (3) 職員処遇改善費

以下、(1)の処遇改善等加算（区分1）分及び(2)の処遇改善等加算（区分1）分を「向上支援費区分1」、(1)の処遇改善等加算（区分2）分及び(2)の処遇改善等加算（区分2）分を「向上支援費区分2」、向上支援費区分1及び向上支援費区分2を「向上支援費加算」という。

なお、一部の用語については別紙に定義を掲載する。

## 第1 目的・対象

### 1 目的

処遇改善等加算のうち給付費要綱に定める部分については、教育・保育の提供に従事する人材の確保及び資質の向上のため、特定教育・保育等に通常要する費用の額を勘案して定める基準額（以下「公定価格」という。）において、職員の平均経験年数の上昇に応じた昇給に要する費用（区分1「基礎分」）、職員の賃金の改善に要する費用（区分2「賃金改善分」）、職員の技能・経験の向上に応じた追加的な賃金改善に要する費用（区分3「質の向上分」（以下単に「区分3」という））を設けている。これに加え、処遇改善等加算のうち向上支援費要綱に定める向上支援費区分1（区分1「基礎分」と併せて、以下単に「区分1」という）、向上支援費区分2（区分2「賃金改善分」と併せて、以下単に「区分2」という）及び「職員処遇改善費」を確保することにより、賃金体系の改善を通じて「長く働くことができる」職場環境を構築し、もって質の高い教育・保育の安定的な供給に資するものとする。

### 2 対象施設・事業所

特定教育・保育施設（都道府県又は市町村が設置するものを除く。幼稚園は向上支援費加算を除く。）及び特定地域型保育事業所（向上支援費加算を除き、都道府県又は市町村が運営するものは、告示の別表に定める加算率（c）に対応するものに限る。職員処遇改善費は居宅訪問型保育事業所を除く。）（以下「施設・事業所」という。）とする。

## 第2 処遇改善等加算の要件

### 1 区分1の要件

当該施設・事業所の取組が次の(1)及び(2)のいずれにも適合すること又は区分3の適用を受けていること（以下、「キャリアパス要件」という。）。ただし、令和7年度に限り、キャリアパス要件に適合しない場合は、区分2の割合からキャリアパス要件分の割合を減じることとする。

- (1) 次のア及びイに掲げる要件の全てに適合し、それらの内容について就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての職員（非常勤職員及び法人の役員等を兼務している職員を含む。以下同じ。）に周知していること。

ア 職員の職位、職責又は職務内容等に応じた勤務条件等の要件（職員の賃金に関するものを含む。）を定めていること。

イ アに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系（一時金等の臨時的に支払われるものを除く。）を定めていること。

- (2) 職員の職務内容等を踏まえ、職員と意見を交換しながら、資質向上の目標並びに次のア及びイに掲げる具体的な計画を策定し、当該計画に係る研修（通常業務中に行うものを除き、教育に係る長期休業期間に行うものを含む。以下同じ。）の実施又は研修の機会を確保し、それを全ての職員に周知していること。

ア 資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、そのフィードバックを行うこと。

イ 幼稚園教諭免許状・保育士資格等を取得しようとする者がいる場合は、資格取得のための支援（例えば、研修受講のための勤務シフトの調整や休暇の付与、交通費、受講料等の費用負担の援助等）を実施すること。

## 2 区分2、区分3及び職員処遇改善費に係る共通の要件

加算当年度(加算の適用を受けようとする年度をいう。以下同じ。)の賃金改善実施期間において、次に掲げる要件をすべて満たすこと。

- (1) 区分2、区分3及び職員処遇改善費のそれぞれにおいて、「加算による改善等見込総額」が「加算見込額」を下回っていないこと。また、加算当年度の翌年度において、加算による改善等実績総額が加算額を下回った場合は、その全額を速やかに職員の賃金（退職金（注1））及び法人の役員等としての報酬、法定福利費等の事業主負担分を除く。以下同じ。）と加算による改善額に伴う法定福利費等の事業主負担分として支払うこと（注2）。

（注1） 退職者に対して第1の1の目的と関連なく適用される賃金の項目やその増額については、その名目にかかわらず、処遇改善等加算の賃金の改善に要した費用に含めることができない。

（注2） 加算額には職員の賃金の改善に伴う法定福利費等の事業主負担分が含まれていることから、加算額との比較に当たっては、実際に支払った職員の賃金の改善に併せて増加する法定福利費等の事業主負担分も含めることができる。

- (2) 区分2（向上支援費区分2を除く）と区分3を併せた加算による改善見込額は、1/2以上を基本給・決まって毎月支払われる手当により改善すること。
- (3) 加算当年度の途中において国家公務員の給与改定に伴う増額改定が生じた場合には、それに応じた賃金の追加的な支払を行うものとする。
- (4) 「①加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金見込総額」が「②基準年度における加算額等の影響を除いた支払賃金総額」を下回っていないこと。また、加算当年度の翌年度において、①が②を下回った場合は、その全額を速やかに

職員の賃金として支払うこと。

なお、①が②を下回った場合において、以下に掲げる必要事項を記載した特別な事情に係る届出をした場合については、要件を満たすものとすることができる。

(必要事項)

- ・事業の継続を図るために、職員の賃金を引き下げる必要がある状況
- ・賃金水準の引き下げの内容
- ・経営及び賃金水準の改善の見込み
- ・賃金水準を引き下げるについて、適切に労使の合意を得ていること等

(留意点)

※ 1. 施設・事業所全体の超過勤務手当が基準年度と比べて増加（減少）している場合は、超過勤務手当の差額を「①加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金見込総額」から差し引く（加える）調整をしても差し支えない。

※ 2. (1)の要件を満たした上で、加算当年度の加算額が基準年度の加算額と比べて減額となる場合、加算当年度にその部分を一時金等として支払った場合に、減額調整を行うことが可能である。

(5) 賃金改善の具体的な内容を職員に周知していること。

### 3 区分3の要件

加算当年度の賃金改善実施期間において、次に掲げる要件をすべて満たすこと

(1) 次に掲げる職員（以下、「研修修了者」という。）が少なくとも合計1人以上いること。（注1）

i 副主任保育士等（次に掲げる要件をすべて満たす職員をいう。以下同じ。）

- a 副主任保育士・専門リーダー（保育所、地域型保育事業所及び認定こども園）若しくは中核リーダー・専門リーダー（幼稚園及び認定こども園）又はこれらに相当する職位の発令や職務命令を受けていること（注2）
- b 概ね7年以上の経験年数（注3）を有するとともに、別に定める研修を修了していること。

ii 職務分野別リーダー等（次に掲げる要件をすべて満たす職員をいう。以下同じ。）

- a 職務分野別リーダー（保育所、地域型保育事業所及び認定こども園）若しくは若手リーダー（幼稚園及び認定こども園）又はこれらに相当する職位の発令や職務命令を受けていること（注2）。
- b 概ね3年以上の経験年数（注3）を有するとともに、「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」「食育・アレルギー」「保健衛生・安全対策」「保護者支援・子育て支援」のいずれかの分野（若手リーダー又はこれに相当する職位については、これに準ずる分野や園運営に関する連絡調整等）を担当するとともに、別に定める研修を修了していること。

iii 園長又は主任保育士、副園長、教頭、主幹教諭、主幹保育教諭等であって、副主任保育士・専門リーダーを対象とした別に定める研修を修了している者

(注1) 加算当年度の4月1日時点の研修修了者（年度内に別に定める研修を修了する予定であって、研修計画において当該者が研修を受けることを明示し、本人に周知されているとともに、副主任保育士等又は職務分野別リーダー等に準ずる職位や職務命令を受けている者（以下「研修終了見込みの者」という。）を含まない。）の人数で判断することとする。なお、加算当年度の4月1日時点において研修修了者がいない施設において、年度途中において研修修了者を1人以上確保でき、本要件を満たすこととなった場合には、本要件を満たすこととなった日の属する月の翌月から加算を適用できることとする。

(注2) 家庭的保育事業及び居宅訪問型保育事業にあつては、職位の発令や職務命令を受けていることを要しない。

(注3) 職員の経験年数の算定については、第4の2に準じる。「概ね」の判断については、施設・事業所の職員の構成・状況を踏まえた柔軟な対応が可能である。

家庭的保育事業及び居宅訪問型保育事業にあつては、副主任保育士等について「概ね7年以上」とあるのを「7年以上」、職務分野別リーダー等について「概ね3年以上」とあるのを「3年以上」と読み替える。

(2) 次に掲げる加算の区分に定める職員に対し賃金の改善を行い、かつ、職員の職位、職責又は職務内容等に応じた勤務条件等の要件（職員の賃金に関するものを含む。）及びこれに応じた賃金体系（一時金等の臨時的に支払われるものを除く。）を定めて就業規則等の書面で整備し、全ての職員に周知していること。

- i 告示の別表に定める区分3-①（以下、「区分3-①」という。）副主任保育士等（注1）（注2）
- ii 告示の別表に定める区分3-②（以下、「区分3-②」という。）職務分野別リーダー等（注1）

(注1) 研修終了見込みの者を含む。

(注2) 職員の経験年数、技能、給与等の実態を踏まえ、当該施設・事業所において必要と認める場合には、職務分野別リーダー等に対して区分3-①による賃金の改善を行うことができる。

また、改善後の副主任保育士等の賃金が園長以外の管理職（幼稚園及び認定こども園の副園長、教頭、主幹教諭等及び主幹保育教諭並びに保育所等の主任保育士をいう。以下同じ。）の賃金を上回ることとなる場合など賃金のバランス等を踏まえて必要な場合には、当該園長以外の管理職に対して区分3-①による賃金の改善を行うことができる。

(3) 個別の職員に対する賃金の改善額は、次に掲げる職員の区分に応じそれぞれに定める要件を満たすこと。

区分3-① 副主任保育士等 月額4万円を超えないものとする。

区分3-② 職務分野別リーダー等 原則として月額5千円（注1）。ただし、副主任保育士等の改善額のうち最も低い額を上回らない範囲において、月額5千円以上4万円未満とすることができる。

(注1) 例えば、法定福利費等の事業主負担がない又は少ない非常勤職員の賃金の改善を図っているなど、事業主負担額の影響により前年度において残額が生じた場合には、その実績も加味し、計画当初から原則額を上回

る賃金の改善額を設定することが望ましい。

#### 4 職員処遇改善費の要件

- (1) 職員処遇改善費は、区分3-①を適用した施設及び事業所のみ申請することができるものとする。なお、家庭的保育事業、事業所内保育事業（利用定員5名以下）は、区分3-②の取得でも申請可能とする。
- (2) 職員処遇改善費の支給方法は、原則基本給又は役職手当など職責若しくは職務に応じて、決まって毎月支払われる手当により行われるものとする。
- (3) 職員処遇改善費は、職員一人当たり区分3と併せて月額4万円を上限とし、賃金改善額は、月額5千円以上4万円以下とする。
- (4) 職員処遇改善費の賃金改善の対象となる範囲は、園長、施設長及び役員（法人役員と兼務している保育士等は除く）を除く職員とし、経験年数7年0か月以上で職種が「保育士」「保育教諭」「教諭」「保健師・助産師・看護師・准看護師」の職員に配分するものとする。

### 第3 処遇改善等加算

#### 1 処遇改善等加算の認定主体及び加算申請書の提出時期

施設及び事業所が処遇改善等加算の認定を受けるための手続きは、次の各号によるものとする。

- (1) 本市が管轄する施設・事業所は、市長が加算の認定を行い、認定の内容を施設・事業所に通知することとする。
- (2) 施設・事業所は、市長の定める日までに、施設・事業所ごとに、必要書類を市長に提出すること。

#### 2 認定書類

認定に当たって施設・事業所の設置者・事業者が提出する書類は、次に掲げる区分に応じ、それぞれに定めるところによること。

##### (1) 区分1に係る書類

施設・事業所の設置者・事業者は、第1号様式の1「加算率等認定申請書（処遇改善等加算）」、第1号様式の2「職員履歴報告書（処遇改善等加算）（A票）」、第1号様式の3「職員状況報告書（処遇改善等加算）（B票）」、第1号様式の4「キャリアパス要件届出書」及び資質向上のための計画を示した書類を提出すること。

ただし、過年度に第1号様式の4「キャリアパス要件届出書」及び資質向上のための計画を示した書類を提出しており、その内容に変更がない場合は、第1号様式の4「キャリアパス要件届出書」及び資質向上のための計画を示した書類の提出を不要とする。

##### (2) 区分2に係る書類

区分1の認定に当たって提出する書類に加え、施設・事業所の設置者・事業者は、第2号様式の1「賃金改善計画書（処遇改善等加算）」、第2号様式の2「賃金改善明細書（職員別表）」、第2号様式の3「賃金改善確認書」を提出すること。

また、区分2（向上支援費区分2を除く）に係る加算額の一部を、同一の設置者・事業者が運営する他の施設・事業所における賃金の改善に充てる場合は、第2号様式の4「同一の事業者内における拠出見込額・受入見込額一覧表」を提出

すること。

ただし、加算当年度の前年度に区分 2（加算当年度の前年度が令和 6 年度の場合は、処遇改善等加算Ⅰ又はⅢとする。）の適用を受けている施設・事業所が、第 3 号様式「賃金改善の誓約書」を提出しており、施設・事業所の設置者・事業者がその内容を職員に対して周知している場合は、第 2 号様式の 1、第 2 号様式の 2、第 2 号様式の 3、及び第 2 号様式の 4 の提出を不要とする。

(3) 区分 3 及び職員処遇改善費に係る書類

区分 2 の認定に当たって提出する書類に加え、施設・事業所の設置者・事業者は、第 4 号様式「加算算定対象人数等認定申請書(区分 3 (質の向上分) 及び職員処遇改善費)」、第 5 号様式「研修受講履歴一覧」及び加算算定対象人数の算出方法を示した書類を提出すること。また、見込平均利用子ども数を用いて加算算定対象人数を算定した場合は、見込平均利用子ども数の算出方法を示した書類を提出すること。

ただし、加算当年度の前年度に区分 3（加算当年度の前年度が令和 6 年度の場合は、処遇改善等加算Ⅱとする。）の適用を受けている施設・事業所が、第 3 号様式「賃金改善の誓約書」を提出しており、施設・事業所の設置者・事業者がその内容を職員に対して周知している場合は、第 2 号様式の 1、第 2 号様式の 2、第 2 号様式の 3、及び第 2 号様式の 4 の提出を不要とする。

#### 第 4 加算額の算定等

1 要件の確認に係る区分 1 及び区分 2 の加算見込み額の算定

第 2 の 2 の要件の確認に係る区分 1 及び区分 2 の加算見込額の算定は、利用子どもの認定区分及び年齢区分ごとに、次の＜算式＞により算定した額を合算して得た額（千円未満の端数は切り捨て）をいう。

＜算式＞

「加算当年度の区分 1 及び区分 2 の単価の合計額」× {「加算率」×100} ×  
「見込平均利用子ども数」×「賃金改善実施期間の月数」

2 実際の加算額の算定に係る区分 1 及び区分 2 の加算率と加算額の算定

実際の加算額の算定に当たって、区分 1 及び区分 2 に係る加算額の算定に用いる加算率は、職員 1 人当たりの平均経験年数の区分に応じた割合とする。加算当年度を通じて同じ加算率の値を適用するとともに、実際の各月の利用子ども数により算定すること。

また、区分 2 「賃金改善分」の加算額の算定に用いる加算率について、令和 7 年度に限り、キャリアパス要件に適合しない場合には、区分 2 の割合からキャリアパス要件分の割合を減じた割合とし、区分 2 「賃金改善分」の要件に適合しない場合は、0 % とすること。

加算率については、以下の加算率区分表を参照すること。

(加算率区分表)

| 職員一人当たり<br>の平均経験年数 | 加算率                            |                         |                  |
|--------------------|--------------------------------|-------------------------|------------------|
|                    | 区分 1<br>(基礎分)<br>(加算率<br>(a) ) | 区分 2<br>(賃金改善分)         | うちキャリア<br>パス要件分  |
| 11 年以上             | 12%                            | 7%(加算率 (b))<br>+加算率 (c) | 2% (加算率<br>(b) ) |
| 10 年以上 11 年未満      | 12%                            | 6%(加算率 (b))<br>+加算率 (c) |                  |
| 9 年以上 10 年未満       | 11%                            |                         |                  |
| 8 年以上 9 年未満        | 10%                            |                         |                  |
| 7 年以上 8 年未満        | 9%                             |                         |                  |
| 6 年以上 7 年未満        | 8%                             |                         |                  |
| 5 年以上 6 年未満        | 7%                             |                         |                  |
| 4 年以上 5 年未満        | 6%                             |                         |                  |
| 3 年以上 4 年未満        | 5%                             |                         |                  |
| 2 年以上 3 年未満        | 4%                             |                         |                  |
| 1 年以上 2 年未満        | 3%                             |                         |                  |
| 1 年未満              | 2%                             |                         |                  |

「職員1人当たりの平均経験年数」は、その職種にかかわらず、当該施設・事業所に勤務する全ての常勤職員（当該施設・事業所の就業規則において定められている常勤の従事者が勤務すべき時間数（教育・保育に従事する者にあつては、1か月に勤務すべき時間数が120時間以上であるものに限る。）に達している者又は当該者以外の者であつて1日6時間以上かつ月20日以上勤務するもの）について、当該施設・事業所又は他の施設・事業所（次に掲げるものに限る。）における勤続年月数を通算した年月数を合算した総年月数を当該職員の総数で除して得た年数（6月以上の端数は1年とし、6月未満の端数は切り捨てとする。）とする（居宅訪問型保育事業においても、当該事業を行う事業所を単位として職員1人当たりの平均経験年数を算定すること。）。なお、勤続年月数の確認に当たっては、施設・事業所による職歴証明書のほか、雇用保険加入履歴や年金加入記録など、加算認定申請書に記載された職歴が把握・推認される資料等によって算定することが考えられる（職歴証明書によらず、雇用保険加入履歴や年金加入記録などから推認する場合は、労働条件通知書等もあわせて確認することが考えられる。公立施設に在職している期間については、辞令の写しで代えることも可能と考えられる）。

- (1) 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「支援法」という。）第7条第4項に定める教育・保育施設、同条第5項に定める地域型保育事業を行う事業所及び同法第30条第1項第4号に定める特例保育を行う施設・事業所
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に定める学校及び同法第124条に定める専修学校
- (3) 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第2条に定める社会福祉事業を行う施設・事業所
- (4) 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条の3第23項に定める乳児等通園支援事業を行う事業所及び同法第12条の4に定める施設
- (5) 認可外保育施設（児童福祉法第59条の2第1項に定める施設をいう。以下同じ。）で以下に掲げるもの

- ア 地方公共団体における単独保育施策による施設
- イ 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書を交付された施設
- ウ 企業主導型保育施設
- エ 幼稚園を設置する者が当該幼稚園と併せて設置している施設
- オ アからエまでに掲げる施設以外の認可外保育施設が(1)の施設・事業所に移行した場合における移行前の認可外保育施設

- (6) 医療法（昭和23年法律第205号）に定める病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院及び助産所（保健師、看護師又は准看護師に限る。）

また、「職員1人当たりの平均経験年数」の算定は、加算当年度の4月1日（当該年度の途中において支援法第27条第1項又は第29条第1項の確認（以下「支援法による確認」という。）を受けた施設・事業所にあつては、支援法による確認を受けた日）時点で行うこと。区分3の職員の経験年数の算定はこれに準じる。

### 3 区分3の加算算定対象人数の算定

- (1) 家庭的保育事業、事業所内保育事業（利用定員5人以下の事業所に限る。）及び居宅訪問型保育事業を行う事業所以外の施設・事業所

区分3－①の「人数A」又は区分3－②の「人数B」は、次の＜算式＞により算定すること（1人未満の端数は四捨五入。ただし、四捨五入した結果が「0」となる場合は「1」とする。）。ただし、第2の3(1) i と iii に定める研修修了者が人数Aに達しない場合は、人数Aは当該研修修了者の人数（以下、修了人数Aとする。）で算定し、第2の3(1) ii に定める研修修了者が人数Bに達しない場合は、人数Bは当該研修修了者の人数（以下、修了人数Bとする。）で算定すること。

また、令和6年度に処遇改善等加算Ⅱの認定を受けていた施設・事業所においては、令和7年度に限り、「基準人数A」を超えない範囲で第2の3(1) i と iii に定める研修修了見込み者を「修了人数A」に含むことができる。ただし、研修修了見込みの者を修了人数Bに含めることはできない。なお、研修修了見込みの者が令和8年4月1日時点で当該研修を修了していない場合、令和8年度の加算額算定にあたり、当該者は「人数A」に含めることができないものとする。

#### ＜算式＞

「人数A」＝「基礎職員数」×1／3（以下、基準人数Aとする。）

「人数B」＝「基礎職員数」×1／5（以下、基準人数Bとする。）

なお、「修了人数A、B」は「基準人数A、B」を上回らないものとする。

また、「基準人数A、B」の人数全員がそれぞれの研修要件を満たしている場合、「修了人数A、B」の人数と一致する。

- (2) 家庭的保育事業、事業所内保育事業（利用定員5人以下の事業所に限る。）及び居宅訪問型保育事業を行う事業所

区分3－①又は区分3－②のいずれの適用を受けるかを選択する（「基準人数A」又は「基準人数B」のいずれかを「1」とし、他方を「0」とする）こと。

#### 4 区分3の加算額の算定

区分3の加算額は、次に掲げる施設・事業所の区分に応じ、それぞれに定めるところにより算定した額をいう。原則として、加算当年度を通じて同じ区分3の算定対象人数及び区分3の種類を適用すること。要件の確認に係る加算見込額の算定も同じ。

- (1) 家庭的保育事業、事業所内保育事業（利用定員5人以下の事業所に限る。）及び居宅訪問型保育事業を行う事業所以外の施設・事業所

次に掲げる＜算式＞により算定した額の合算額をいう。

＜算式＞

区分3－①「区分3－①に係る単価」×「基準人数A※」×「賃金改善実施期間の月数」（千円未満の端数は切り捨て）

※ 第2の3(1) i と iii に定める研修修了者が基準人数Aに達しない場合は、修了人数Aで算定すること。

区分3－②「区分3－②に係る単価」×「基準人数B※」×「賃金改善実施期間の月数」（同）

※ 第2の3(1) ii に定める研修修了者が基準人数Bに達しない場合は、修了人数Bで算定すること。

- (2) 家庭的保育事業、事業所内保育事業（利用定員5人以下の事業所に限る。）及び居宅訪問型保育事業を行う事業所

区分3－①又は区分3－②のいずれか選択されたものについて、次に掲げる

＜算式＞により算定した額をいう。

＜算式＞

「加算当年度の単価」×「賃金改善実施期間の月数」（千円未満の端数は切り捨て）

#### 5 国家公務員の給与改定に伴う公定価格における人件費の改定分の算定

国家公務員の給与改定に伴う公定価格における人件費の改定分は、第2の2(3)、(4)のとおり、その全額を賃金の改善に充てることを処遇改善等加算の要件としていことから、金額の算定等については、以下のとおりとすること。

- (1) 公定価格における人件費の改定分の額の算定

加算当年度と実績報告時において、それぞれ以下の方法で計算した額とする。

また、補正予算により公定価格における人件費の改定がなされる場合、当初予算に基づく公定価格からの増額分を人件費の改定分の額として算定することができる。具体的な取り扱いについては、改定実施後に通知する。

(加算当年度)

利用子どもの認定区分及び年齢区分ごとに、次の＜算式1＞により算定した額を合算して得た額から＜算式2＞を標準として算定した法定福利費等の事業主負担分を控除した額とする。

＜算式1＞

「加算当年度の区分1に係る単価の合計額」×{「基準翌年度から加算当年度までの人件費の改定分に係る改定率」×100}×「見込平均利用子ども数」×「賃金改善実施期間の月数」×0.9（調整率）

<算式2>

「加算前年度における法定福利費等の事業主負担分の総額」÷「加算前年度における賃金の総額及び法定福利費等の事業主負担分の総額の合計額」×  
「<算式1>により算定した金額」

(実績報告時)

次の<算式3>により算定した額から<算式4>を標準として算定した法定福利費等の事業主負担分を控除した額とする。

<算式3>

「加算当年度の区分1に係る加算額総額（増額改定又は減額改定を反映させた額）」×「基準翌年度から加算当年度までの人件費の改定分に係る改定率」÷「加算当年度に適用を受けた区分1に係る加算率」×0.9（調整率）

<算式4>

「加算前年度における法定福利費等の事業主負担分の総額」÷「加算前年度における賃金の総額及び法定福利費等の事業主負担分の総額の合計額」×  
「<算式3>により算定した金額」

(2) 公定価格における人件費の改定分の額の通知・要請

市長は、加算当年度内に公定価格における人件費の改定があった場合には、職員への賃金の適切な支払に資するよう、その影響額を設置者・事業者に速やかに通知する。

この場合において、増額改定があった場合には、設置者・事業者は、加算額の増加分を含む給付増加額について、一時金等による迅速かつ確実な賃金や法定福利費等の事業主負担の支払に充てるとともに、増額改定を加味した次年度以降の給与表、給与規程等の改定にも計画的に取り組むこと。

また、減額改定があった場合には、設置者・事業者は、減額改定を理由に公定価格を原資とする職員の人件費を引き下げる場合でも、賃金や法定福利費等の事業主負担分について、施設・事業所全体で公定価格の年間の減額相当額（上記の第4に示す<算式1>又は<算式3>により算出される減額改定分）を超える減額を実施しないと、減額改定を加味した次年度以降の給与表、給与規定等の改定を行う場合は、この趣旨を適切に反映すること。

6 職員処遇改善費の加算算定対象人数の算定

- (1) 職員処遇改善費の加算対象職員は、加算率等認定申請書（処遇改善等加算）（第1号様式の1）に記載された職員のうち「ウ 合計ア+イ」の経験年数が7年0か月以上で、職種が「保育士」「保育教諭」「教諭」「保健師・助産師・看護師・准看護師」の職員の人数から「区分3における基準人数A※」及び原則第8に規定する研修要件を満たさない職員の人数を引いた人数とする。ただし、産前産後休業や育児休業、病気休暇を取得しているため、賃金改善できない職員の人数を加算対象職員から除くことができる。なお、マイナスとなる場合は支給対象外とする。（以下、職員処遇改善費の加算算定対象人数を「人数C」という。）

※ 第2の3(1) i と iii に定める研修修了者が基準人数Aに達しない場合は、修了人数Aで算定すること。

- (2) 職員処遇改善費の加算対象職員の対象となる職種は、加算率等認定申請書（処遇改善等加算）（第1号様式の1）に記載された職員のうち、「保育士」「保育教

論」「教諭」「保健師・助産師・看護師・准看護師」に限る。

#### 7 職員処遇改善費の加算額の算定

職員処遇改善費の加算額は、加算当年度を通じて同じ職員処遇改善費の算定対象人数を適用すること。要件の確認に係る加算見込額の算定も同じ。

次に掲げる＜算式＞により算定した額の合算額をいう。

＜算式＞

「職員処遇改善費の単価」×「人数C」×「賃金改善実施期間の月数」（千円未満の端数は切り捨て）

### 第5 賃金の改善

#### 1 加算額の使途

区分1に係る加算額は、職員の賃金の勤続年数等を基準として行う昇給等（注）に適切に充てること。

区分2、区分3及び職員処遇改善費に係る加算額は、その全額を職員の賃金の改善（注）に確実に充てること。

また、当該改善の前提として、国家公務員の給与改定に伴う公定価格における人件費の増額改定分に係る支給額についても、その全額を職員の賃金の改善（注）に確実に充てること。

（注）当該加算による改善額に伴う法定福利費等の事業主負担分に充てても良いこと。

#### 2 賃金改善の方法

処遇改善等加算による賃金の改善に当たっては、第1の1の目的に鑑み、その方針をあらかじめ職員に周知し、改善を行う賃金の項目以外の賃金の項目（給与規定等に基づいた職員個人の業績評価等に応じて変動するものを除く。）の水準を低下させないこと（注1）を前提に行うとともに、対象者や賃金改善額が恣意的に偏ることなく、改善が必要な職種の職員に対して重点的に講じられるよう留意すること。

区分2に係る加算額については、各施設・事業所で決定する範囲の職員に対し、基本給、手当、賞与又は一時金等のうちから改善を行う賃金の項目を特定した上で、毎月払い、一括払い等の方法により賃金の改善を行うことができ、各施設・事業所においてその名称、内訳等を明確に管理すること。なお、手当や一時金等については、基本給の引上げや定期昇給の増額等に段階的に反映していくことが望ましく、給与表や給与規程の見直しを推進すること。

区分3の「質の向上分」に係る加算額については、副主任保育士等及び職務分野別リーダー等（注2）に対し、役職手当、職務手当など職位、職責又は職務内容等に応じて、決まって毎月支払われる手当又は基本給により賃金の改善を行うこととし、各施設・事業所においてその名称、内訳等を明確に管理すること。

また、区分2（向上支援費区分2を除く）及び区分3を併せた加算による改善額のうち1/2以上は、基本給・決まって毎月支払われる手当により改善すること。

（注1） 基準年度と比べて加算額が減少する場合や施設独自の改善を実施しないこととした場合、必要事項を記載した第7号様式「特別な事情に係る届出書」を提出した場合については、この限りではない。

また、3により加算額の一部を同一の設置者・事業者が運営する他の施設・事業所の賃金改善に充てる場合であっても、それを理由として賃金水準を低下させたり、加算による改善の水準を拠出の程度を超えて低下させたりしないこと。

（注2） 年度内に研修修了を予定している者であって、副主任保育士等及び職務分野別リーダー等に準ずる職位や職務命令を受けている者を含む。

### 3 他の施設・事業所の賃金改善への充当

区分2（向上支援費区分2を除く）に係る加算額については、その一部を同一の設置者・事業者が運営する他の施設・事業所（注）における賃金の改善に充てることができる。

（注） 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所（当該施設・事業所が所在する市町村の区域外に所在するものを含む。）に限る。

### 4 加算当年度の残額が翌年度に存在する場合の取扱い

加算当年度の終了後、「①加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金総額」が「②基準年度における加算額等の影響を除いた賃金総額」を下回った場合は、その翌年度内に速やかに、その差額の全額（以下「加算当年度の翌年度において加算当年度に支払うべき残額」という。）を一時金等により支払い、職員の賃金の改善に充てること。なお、①が②以上となった場合であっても、「加算による改善等実績総額」が区分2、区分3及び職員処遇改善費に係る加算額を下回った場合には、その差額の全額を一時金等により速やかに支払い、職員の賃金の改善に充てること。

## 第6 実績報告

処遇改善等加算の適用を受けた施設・事業所の設置者・事業者は、加算当年度の翌年度速やかに、第2の加算要件を満たした第6号様式の1「賃金改善実績報告書（処遇改善等加算）」を市長に提出すること。また、加算要件の適否に当たっては、加算による改善見込額は加算による改善実績額、加算見込額は加算実績額、賃金見込額は支払賃金額と読み替えて適用すること。

加算当年度内に公定価格における人件費の改定があった場合には、第6号様式の1においてそれに伴う対応（注）を反映させること。

（注） 第2の2(3)を参照。

加えて、職員ごとの賃金水準や賃金改善等実績額を示す第6号様式の2「賃金改善明細書（職員別表）」を添付し、改善の対象者や賃金改善額が偏っている場合等必要と認められる場合には、理由の聴取と改善の充実のための指導を受けるものとする。

区分2（向上支援費区分2を除く）に係る加算額を複数の施設・事業所間で調整した場合には、第6号様式の3「同一の事業者内における拠出実績額・受入実績額一覧表」を添付すること。

また、処遇改善等加算の区分2及び区分3の適用を受けた施設・事業所において、第2の2(4)の要件を満たすために必要な場合は、第7号様式「特別な事情に係る届出書」を提出すること。さらに、賃金の改善に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出についての証拠書類を整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を実績報告後5年間保管し、横浜市からこの提供を求められた場合には提出をしなければならない。

## 第7 区分3に係る研修要件

- 1 保育所・地域型保育事業所の職員が修了すべき研修及び研修分野は次のとおりとする。

| 研修分野          |             | 職位（注1）             |                    |                                        |
|---------------|-------------|--------------------|--------------------|----------------------------------------|
|               |             | 副主任保育士             | 専門リーダー             | 職務分野別リーダー                              |
| 保育士等キャリアアップ研修 | 専門分野別研修     | 専門分野別研修のうち3以上の研修分野 | 専門分野別研修のうち4以上の研修分野 | 職務分野別リーダーとして担当する職務分野に対応する分野を含む1以上の研修分野 |
|               | 乳児保育        |                    |                    |                                        |
|               | 幼児教育        |                    |                    |                                        |
|               | 障害児保育       |                    |                    |                                        |
|               | 食育・アレルギー対応  |                    |                    |                                        |
|               | 保健衛生・安全対策   |                    |                    |                                        |
|               | 保護者支援・子育て支援 |                    |                    |                                        |
|               | マネジメント研修    | 必須                 | （注2）               | （注2）                                   |
|               | 保育実践研修      | （注2）               | （注2）               | （注2）                                   |

（注1） 各職位については、第2の3(1) i 及び ii に対応する。

（注2） 原則として、専門分野別研修として取り扱うことはできないが、令和2年3月31日までに修了した研修に限って、専門分野別研修として取り扱うことが可能である。

### (1) 研修内容

#### ア 保育士等キャリアアップ研修（平成29年度以降）

「保育士等キャリアアップ研修の実施について」（平成29年4月1日付け雇児保発0401第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長通知）別紙「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に沿って、各都道府県又は各都道府県知事が指定する研修実施機関が実施する研修をいう。

イ 教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律（令和4年法律第40号）の一部施行（令和4年7月1日）より前に実施された幼稚園教諭免許状に係る免許状更新講習（以下「旧免許状更新講習」という。）及び免許法認定講習のうち、都道府県が専門分野別研修の各研修分野として適当と認める研修を修了し、それらを複数組み合わせる1つの分野の修了時間が計15時間以上に達した場合には、当該研修分野に係る専門分野別研修を修了したとみなすことができる。

### (2) 園内研修の取扱い

「施設型給付費等に係る処遇改善等加算（区分3）に係る研修修了要件について（令和7年9月16日）」 I 1（4）保育所等における園内研修の取扱いについてを参照とする。

### (3) 受講の確認

受講の確認については、区分3及び職員処遇改善費の手続きの際に以下のものを添付する。内容に疑義等が生じた際には研修の修了証等の挙証資料の提示を求める場合があるため、各施設において修了証の写し等を適切に保管する。

研修受講履歴一覧（第5号様式の1）

※ 園内研修を受講履歴として入れる場合は、「園内研修実施状況報告書」も添付する。

## 2 幼稚園・認定こども園（以下「幼稚園等」という。）の職員が修了すべき研修は次のとおりとする。

| 研修分野                            |                      | 職位（注1）              |                     |                    |
|---------------------------------|----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|
|                                 |                      | 中核リーダー              | 専門リーダー              | 若手リーダー             |
| 幼稚園教育要領等を踏まえて<br>保育・教育の質を高めるための |                      | 60時間以上              | 60時間以上              | 15時間以上<br>(注2)     |
| 知識・技<br>術の向上<br>を目的に<br>した研修    | うちマネジメント<br>分野にかかる研修 | 15時間以上必須<br>(2)参照   | 一部算入可<br>(2)参照      | 一部算入可<br>(2)参照     |
|                                 | うち園内研修               | 15時間以内算入可<br>(1)オ参照 | 15時間以内算入可<br>(1)オ参照 | 4時間以内算入可<br>(1)オ参照 |

(注1) 各職位については、第2の3(1) i 及び ii に対応する。

(注2) 担当する職務分野に対応する研修を含む（幼稚園のみ）

### (1) 研修内容

幼稚園等の職員が受講すべき研修は、幼稚園教育要領等を踏まえて教育の質（認定こども園においては、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領及び保育所保育指針を踏まえて教育及び保育の質）を高めるための知識・技能の向上を目的とし、かつ、以下ア～オの主体が実施する研修とする。（各研修の受講時間数を合算する。）

ア 都道府県又は市町村（教育委員会を含む。）

イ 幼稚園においては、幼稚園関係団体又は認定こども園関係団体のうち、都道府県が適当と認めた者。認定こども園においては、認定こども園関係団体、幼稚園関係団体又は保育関係団体のうち、都道府県が適当と認めた者。

ウ 大学等（大学、大学共同利用機関若しくは指定教員養成機関又は独立行政法人教職員支援機構若しくは独立行政法人国立特別支援教育総合研究所をいう。）

エ その他都道府県が適当と認めた者

オ 園内における研修を企画・実施する幼稚園等

幼稚園等が企画・実施する園内における研修（以下「園内研修（幼稚園等）」という。）について、以下の（ア）から（ウ）に定める要件を全て満たした場合には、園内研修（幼稚園等）の修了者について、中核リーダー及び専門リーダーにおいては15時間以内、若手リーダーにおいては4時間以内の範囲

で修了要件として、修了すべき研修時間に含むことができる。

なお、園内研修（幼稚園等）を対象とする場合は、区分3及び職員処遇改善費の手続きの際に、園内研修実施状況報告書を添付すること。

(ア) 研修内容に関して十分な知識及び経験を有するとア、イ若しくはエが認める者又はウに所属する者を講師として行うものであること。

(イ) 研修の目的及び内容が明確に設定されていること。

(ウ) 研修受講者が明確に特定されており、各園において研修修了の証明が可能であること。

(2) 保育士等キャリアアップ研修（幼稚園においては、乳児保育分野その他の保育所等に係る内容に特化した研修及び保育実践研修を除く。認定こども園においては、保育実践研修を除く。）については、本項に定める研修に含まれるものであり、本項の研修修了要件を満たすものとして取り扱う（※）。

(※) 各分野15時間を修了する必要はなく、受講した時間数を加算に係る研修の修了時間として算入することが可能である。

保育士等キャリアアップ研修については、平成29年度以降に修了したものとするほか、下記のとおりとする。

| 研修分野              |         |              | 対象者（職位） |        |        |
|-------------------|---------|--------------|---------|--------|--------|
|                   |         |              | 中核リーダー  | 専門リーダー | 若手リーダー |
| キャリアアップ研修（H29年度～） | 専門分野別研修 | ①乳児保育        | △（※1）   | △（※1）  | △（※1）  |
|                   |         | ②幼児教育        | ○       | ○      | ○      |
|                   |         | ③障害児保育       | ○       | ○      | ○      |
|                   |         | ④食育・アレルギー対応  | ○       | ○      | ○      |
|                   |         | ⑤保健衛生・安全対策   | ○       | ○      | ○      |
|                   |         | ⑥保護者支援・子育て支援 | ○       | ○      | ○      |
|                   | マネジメント  |              | ○       | △（※2）  | △（※3）  |
|                   | 保育実践    |              | △（※4）   | △（※4）  | △（※4）  |

※1 乳児保育分野は認定こども園のみ対象となる。幼稚園は対象外。

※2 専門リーダーについては、令和4年3月31日までに修了した保育士等キャリアアップ研修のマネジメント研修は対象となる。

※3 若手リーダーについては、令和2年3月31日までに修了した保育士等キャリアアップ研修のマネジメント研修は対象となる。

※4 令和2年3月31日までに修了した保育実践研修は対象となる。

- (3) 旧免許状更新講習については、幼稚園又は認定こども園における研修修了要件を満たすものとして差し支えない（修了証明書などに修了時間数の記載がない場合、30時間の研修修了とみなすことができる）。

(4) 受講の確認

受講の確認については、区分3及び職員処遇改善費の手続きの際に以下のものを添付する。内容に疑義等が生じた際には研修の修了証等の挙証資料の提示を求める場合があるため、各施設において修了証の写し等を適切に保管する。

研修受講履歴一覧（第5号様式の2）

※ 園内研修を受講履歴として入れる場合は、「園内研修実施状況報告書」も添付する。

3 研修修了要件の適用時期については次のとおりとする。

(1) 副主任保育士、中核リーダー及び専門リーダー

研修修了要件については、令和8年度から適用することとし、令和7年度までの経過措置期間に求める研修の修了数は以下のとおりとする。

ア 令和5年度は、1(1)のうち1以上の研修分野、2(1)のうち15時間以上の研修

イ 令和6年度は、1(1)のうち2以上の研修分野、2(1)のうち30時間以上の研修

ウ 令和7年度は、1(1)のうち3以上の研修分野、2(1)のうち45時間以上の研修

(2) 職務分野別リーダー及び若手リーダー

研修修了要件については、令和6年度から適用している。なお、第2の3(2)の（注2）により、区分3-①に係る賃金の改善を行う職務分野別リーダー又は若手リーダーについても、第2の3(1)のiiの「別に定める研修」を修了している又は修了見込みである必要がある。

- (3) 加算算定対象職員は、区分3による賃金改善を受ける月の前月までに研修修了要件通知に定める研修を修了すること。

## 第8 職員処遇改善費に係る研修要件

- 1 保育所・地域型保育事業所の職員が修了すべき研修及び研修分野は次のとおりとする。

第7の1の表、第7の1(1)に規定する保育士等キャリアアップ研修及び第7の1(2)に示す園内研修、又は保育所保育指針を踏まえて保育の質を高めるための知識・技能の向上を目的とした市主催の保育・教育施設を対象とした研修・研究（以下「市主催研修」という。）とする。

なお、本市主催の研修については、令和5年度以降に受講したものに限り対象とする。

- 2 幼稚園等の職員が修了すべき研修は、第7の2の規定を準用する。

- 3 研修修了要件の適用時期については次のとおりとする。

研修修了要件については、令和9年度から適用することとし、令和8年度までの経過措置期間に求める研修の修了数は次の表のとおりとする。

- (1) 保育所・地域型保育事業所

| 適用時期  | 研修修了要件                                                   |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 令和5年度 | 適用しない                                                    |
| 令和6年度 | 保育士等キャリアアップ研修（注1）又は市主催研修 15 時間以上。ただし、園内研修（注2）は4時間以内とする。  |
| 令和7年度 | 保育士等キャリアアップ研修（注1）又は市主催研修 30 時間以上。ただし、園内研修（注2）は8時間以内とする。  |
| 令和8年度 | 保育士等キャリアアップ研修（注1）又は市主催研修 45 時間以上。ただし、園内研修（注2）は12時間以内とする。 |
| 令和9年度 | 保育士等キャリアアップ研修（注1）又は市主催研修 60 時間以上。ただし、園内研修（注2）は16時間以内とする。 |

（注1） 保育士等キャリアアップ研修は、1分野を15時間と換算とする。

（注2） 園内研修の取扱いについては、第7の1を準用する。

(2) 幼稚園等

| 適用時期  | 研修修了要件                                                         |
|-------|----------------------------------------------------------------|
| 令和5年度 | 適用しない                                                          |
| 令和6年度 | 教育（・保育）の質を高めるための知識・技術の向上を目的とした研修15時間以上。ただし、園内研修（注3）は15時間以内とする。 |
| 令和7年度 | 教育（・保育）の質を高めるための知識・技術の向上を目的とした研修30時間以上。ただし、園内研修（注3）は15時間以内とする。 |
| 令和8年度 | 教育（・保育）の質を高めるための知識・技術の向上を目的とした研修45時間以上。ただし、園内研修（注3）は15時間以内とする。 |
| 令和9年度 | 教育（・保育）の質を高めるための知識・技術の向上を目的とした研修60時間以上。ただし、園内研修（注3）は15時間以内とする。 |

（注3） 園内研修の取扱いについては、第7の2を準用する。

(3) 研修修了要件

職員処遇改善費に係る賃金の改善を行う者についても、修了している又は修了見込みである必要がある。

- (4) 加算算定対象職員は、職員処遇改善費による賃金改善を受ける月の前月までに研修修了要件通知に定める研修を修了すること。

4 研修受講の確認については第7の1及び2を準用する。

第9 虚偽等の場合の返還措置

- 1 市長は、本加算による賃金改善の実施の適正を期するため必要があるときは、代表者に対し事業の遂行の状況に関する報告を求め、又は調査をすることができる。
- 2 施設・事業者が虚偽又は不正の手段により処遇改善等加算の適用を受けた場合には、支給された加算額の全部又は一部に関し、市長が設置者・事業者に対し返還を命じることができる。

第10 その他

この新たな要領の適用前に、旧要領（「横浜市処遇改善等加算取扱要領」（令和6年7月1日こ保給第436号））に基づき支給された処遇改善等加算の取扱いについては、なお従前の例によることとする。

（補則）

第11 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、こども青少年局長が別に定める。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。なお、平成28年度の実績報告書の提出については、改正前の要領によるものとする。

附 則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和2年8月1日から施行する。

なお、本要領は、令和2年4月1日以降に支給された処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ及び職員処遇改善費から適用する。

附 則

この要領は、令和3年7月16日から施行する。

なお、本要領は、令和3年4月1日以降に支給された処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ及び職員処遇改善費から適用する。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年11月25日から施行する。

なお、本要領は、令和4年10月1日以降に支給された処遇改善等加算Ⅲ、職員配置加算の処遇改善等加算Ⅲ相当分、ローテーション保育士（保育教諭）雇用費の処遇改善等加算Ⅲ相当分及び安全な保育を実施するための職員雇用費の処遇改善等加算Ⅲ相当分から適用する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年7月1日から施行する。

#### 附 則

この要領は、令和 7 年12月23日から施行する。

なお、本要領は、令和 7 年 4 月 1 日以降に支給された処遇改善等加算から適用する。

別表（第4の3関係） 区分3の加算算定対象人数の算出の基礎とする職員数

| 施設・事業所 | 基礎職員数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幼稚園    | <p>以下のa～jの合計に、定員35人以下又は301人以上の場合は0.4、定員36～300人の場合は1.4を加え、k・1の合計を減じて得た人数</p> <p>a 年齢別配置基準による職員数 次の算式により算出する数<br/> <math>\{4\text{歳以上児数} \times 1/30 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{3\text{歳児及び満3歳児数} \times 1/20 \text{ (同)}\}</math> (小数点第1位以下四捨五入)</p> <p>※1 3歳児配置改善加算を受けている場合 <math>\{3\text{歳児及び満3歳児数} \times 1/20 \text{ (同)}\}</math> を <math>\{3\text{歳児及び満3歳児数} \times 1/15 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>※2 4歳以上児配置改善加算を受けている場合 <math>\{4\text{歳以上児数} \times 1/30 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\}</math> を <math>\{4\text{歳以上児数} \times 1/25 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>※3 満3歳児対応加配加算を受けている場合</p> <p>i) 3歳児配置改善加算を受けていない場合<br/> <math>\{3\text{歳児及び満3歳児数} \times 1/20 \text{ (同)}\}</math> を <math>\{3\text{歳児数 (満3歳児を除く)} \times 1/20 \text{ (同)}\} + \{満3歳児数 \times 1/6 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>ii) 3歳児配置改善加算を受けている場合<br/> <math>\{3\text{歳児及び満3歳児数} \times 1/20 \text{ (同)}\}</math> を <math>\{3\text{歳児数 (満3歳児を除く)} \times 1/15 \text{ (同)}\} + \{満3歳児数 \times 1/6 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>b 講師配置加算を受けている場合 0.8</p> <p>c チーム保育加配加算を受けている場合 算定上の加配人数</p> <p>d 通園送迎加算を受けている場合 定員150人以下の場合は0.8、151人以上の場合は1.5</p> <p>e 給食実施加算（自園調理に限る。）を受けている場合 定員150人以下の場合は2、151人以上の場合は3</p> <p>f 主幹教諭等専任加算を受けている場合 1</p> <p>g 事務職員配置加算を受けている場合 0.8</p> <p>h 指導充実加配加算を受けている場合 0.8</p> <p>i 事務負担対応加配加算を受けている場合 0.8</p> <p>j 栄養管理加算（A：配置）を受けている場合 0.5</p> <p>k 副園長・教頭配置加算を受けている場合 1</p> <p>l 年齢別配置基準を下回る場合 下回る人数（必要教員数－配置教員数）</p> |
| 保育所    | <p>以下のa～gの合計に、定員40人以下の場合は1.5、定員41～90人の場合は2.5、定員91～150人の場合は2.3、定員151人以上の場合は3.3を加えて得た人数</p> <p>a 年齢別配置基準による職員数 次の算式により算出する数<br/> <math>\{4\text{歳以上児} \times 1/30 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{3\text{歳児数} \times 1/20 \text{ (同)}\} + \{1, 2\text{歳児数} \times 1/6 \text{ (同)}\} + \{0\text{歳児数} \times 1/3 \text{ (同)}\}</math> (小数点第1位以下四捨五入)</p> <p>※1 3歳児配置改善加算を受けている場合 <math>\{3\text{歳児数} \times 1/20 \text{ (同)}\}</math> を <math>\{3\text{歳児数} \times 1/15 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>※2 4歳以上児配置改善加算を受けている場合 <math>\{4\text{歳以上児数} \times 1/30 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\}</math> を <math>\{4\text{歳以上児数} \times 1/25 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <p>※ 3 1歳児配置改善加算を受けている場合 {1, 2歳児数×1/6 (同)} を {2歳児数×1/6 (同)} + {1歳児数×1/5 (同)} に置き換えて算出</p> <p>b 保育標準時間認定の子どもがいる場合 1.4</p> <p>c 主任保育士専任加算を受けている場合 1</p> <p>d 事務職員雇上費加算を受けている場合 0.3</p> <p>e 休日保育加算を受けている場合 0.5</p> <p>f チーム保育推進加算を受けている場合 算定上の加配人数</p> <p>g 栄養管理加算 (A:配置) を受けている場合 0.6</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 認定こども園 | <p>以下のa～nの合計に、定員 90 人以下の場合は 1.4、定員 91 人以上の場合は 2.2 を加え、o～q の合計を減じて得た人数</p> <p>a 年齢別配置基準による職員数 次の算式により算出する数<br/> {4歳以上児数×1/30 (小数点第2位以下切り捨て)} + {3歳児及び満3歳児数×1/20 (同)} + {1, 2歳児数 (保育認定子どもに限る。) × 1/6 (同)} + {乳児数×1/3 (同)} (小数点第1位以下四捨五入)</p> <p>※1 3歳児配置改善加算を受けている場合<br/> {3歳児及び満3歳児数×1/20 (同)} を {3歳児及び満3歳児数×1/15 (同)} に置き換えて算出</p> <p>※2 4歳以上児配置改善加算を受けている場合 {4歳以上児数×1/30 (小数点第2位以下切り捨て)} を {4歳以上児数×1/25 (同)} に置き換えて算出</p> <p>※3 1歳児配置改善加算を受けている場合 {1, 2歳児数×1/6 (同)} を {2歳児数×1/6 (同)} + {1歳児数×1/5 (同)} に置き換えて算出</p> <p>※4 満3歳児対応加配加算を受けている場合</p> <p>i) 3歳児配置改善加算を受けていない場合<br/> {3歳児及び満3歳児数×1/20 (同)} を {3歳児数 (満3歳児を除く) ×1/20 (同)} + {満3歳児数×1/6 (同)} に置き換えて算出</p> <p>ii) 3歳児配置改善加算を受けている場合<br/> {3歳児及び満3歳児数×1/20 (同)} を {3歳児数 (満3歳児を除く) ×1/15 (同)} + {満3歳児数×1/6 (同)} に置き換えて算出</p> <p>b 休けい保育教諭 2・3号定員 90 人以下の場合は1、91 人以上の場合は 0.8</p> <p>c 調理員 2・3号定員 40 人以下の場合は1、41～150 人の場合は2、151 人以上の場合は3</p> <p>d 保育標準時間認定の子どもがいる場合 1.4</p> <p>e 学級編制調整加配加算を受けている場合 1</p> <p>f 講師配置加算を受けている場合 0.8</p> <p>g チーム保育加配加算を受けている場合 算定上の加配人数</p> <p>h 通園送迎加算を受けている場合 1号定員 150 人以下の場合は 0.8、151 人以上の場合は 1.5</p> <p>i 給食実施加算 (自園調理に限る。) を受けている場合 1号定員 150 人以下の場合は2、151 人以上の場合は3</p> <p>j 休日保育加算を受けている場合 0.5</p> <p>k 事務職員配置加算を受けている場合 0.8</p> |

|                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                         | <p>l 指導充実加配加算を受けている場合 0.8</p> <p>m 事務負担対応加配加算を受けている場合 0.8</p> <p>n 栄養管理加算（A：配置）を受けている場合 0.6</p> <p>o 副園長・教頭配置加算を受けている場合 1</p> <p>p 主幹保育教諭等の専任化により子育て支援の取組を実施していない場合であって代替保育教諭等を配置していない場合 配置していない人数（必要代替保育教諭等数－配置代替保育教諭等数）</p> <p>q 年齢別配置基準を下回る場合 下回る人数（必要保育教諭等数－配置保育教諭等数）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 小規模保育事業（A型又はB型）及び事業所内保育事業（定員（小規模保育事業A型又はB型の基準が適用されるもの）） | <p>以下のa～dの合計に1.3を加え、eを減じて得た人数</p> <p>a 年齢別配置基準による職員数 次の算式により算出する数<br/> <math>\{1, 2 \text{ 歳児数} \times 1/6 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{0 \text{ 歳児数 (同)} \times 1/3 \text{ (同)}\} + 1 \text{ (小数点第1位四捨五入)}</math><br/> ※1 障害児保育加算を受けている場合 i)<br/> 1歳児配置改善加算を受けていない場合<br/> 次の算式により算出された数<br/> <math>\{1, 2 \text{ 歳児数 (障害児を除く)} \times 1/6 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{0 \text{ 歳児数 (同)} \times 1/3 \text{ (同)}\} + \{ \text{障害児数} \times 1/2 \text{ (同)}\} + 1 \text{ (小数点第1位以下四捨五入)}</math><br/> ii) 1歳児配置改善加算を受けている場合<br/> 次の算式により算出された数<br/> <math>\{2 \text{ 歳児数 (障害児を除く)} \times 1/6 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{1 \text{ 歳児数 (障害児を除く)} \times 1/5 \text{ (同)}\} + \{0 \text{ 歳児数 (同)} \times 1/3 \text{ (同)}\} + \{ \text{障害児数} \times 1/2 \text{ (同)}\} + 1 \text{ (小数点第1位以下四捨五入)}</math><br/> ※2 1歳児配置改善加算を受けている場合 <math>\{1, 2 \text{ 歳児数} \times 1/6 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\}</math> を <math>\{2 \text{ 歳児数} \times 1/6 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{1 \text{ 歳児数} \times 1/5 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>b 保育標準時間認定の子どもがいる場合 0.4</p> <p>c 休日保育加算を受けている場合 0.5</p> <p>d 栄養管理加算（A：配置）を受けている場合 0.6</p> <p>e 食事の提供について自園調理又は連携施設等からの搬入以外の方法による減算を受けている場合 1</p> |
| 小規模保育事業（C型）                                             | <p>以下のa～cの合計に1.6を加え、dを減じて得た人数</p> <p>a 年齢別配置基準による職員数 次の割合により算出する数<br/> 利用子ども3人（家庭的保育補助者を配置する場合は5人）につき1人（小数点第1位以下四捨五入）<br/> ※ 障害児保育加算を受けている場合 次の算式により算出された数<br/> <math>\{ \text{利用子ども数 (障害児を除く)} \times 1/5 \text{ (小数点第2位以下切り捨て)}\} + \{ \text{障害児数} \times 1/2 \text{ (同)}\} \text{ (小数点第1位以下四捨五入)}</math></p> <p>b 保育標準時間認定の子どもがいる場合 0.4</p> <p>c 栄養管理加算（A：配置）を受けている場合 0.6</p> <p>d 食事の提供について自園調理又は連携施設等からの搬入以外の方法による減算を受けている場合 1</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業所内保育事業（20人以上） | <p>以下の a ～ d の合計に、定員 40 人以下の場合は 1.5、41 人以上の場合は 2.5 を加え、e を減じて得た人数</p> <p>a 年齢別配置基準による職員数 次の算式により算定する数<br/> <math>\{1, 2 \text{ 歳児数} \times 1/6 \text{ (小数点第 2 位以下切り捨て)}\} + \{0 \text{ 歳児数} \times 1/3 \text{ (同)}\}</math>（小数点第 1 位以下四捨五入）</p> <p>※1 障害児保育加算を受けている場合 i)<br/> 1 歳児配置改善加算を受けていない場合<br/> 次の算式により算出された数<br/> <math>\{1, 2 \text{ 歳児数 (障害児を除く)} \times 1/6 \text{ (小数点第 2 位以下切り捨て)}\} + \{0 \text{ 歳児数 (同)} \times 1/3 \text{ (同)}\} + \{\text{障害児数} \times 1/2 \text{ (同)}\} + 1</math>（小数点第 1 位以下四捨五入）</p> <p>ii) 1 歳児配置改善加算を受けている場合<br/> 次の算式により算出された数<br/> <math>\{2 \text{ 歳児数 (障害児を除く)} \times 1/6 \text{ (小数点第 2 位以下切り捨て)}\} + \{1 \text{ 歳児数 (障害児を除く)} \times 1/5 \text{ (同)}\} + \{0 \text{ 歳児数 (同)} \times 1/3 \text{ (同)}\} + \{\text{障害児数} \times 1/2 \text{ (同)}\} + 1</math>（小数点第 1 位以下四捨五入）</p> <p>※2 1 歳児配置改善加算を受けている場合 <math>\{1, 2 \text{ 歳児数} \times 1/6 \text{ (小数点第 2 位以下切り捨て)}\}</math> を <math>\{2 \text{ 歳児数} \times 1/6 \text{ (小数点第 2 位以下切り捨て)}\} + \{1 \text{ 歳児数} \times 1/5 \text{ (同)}\}</math> に置き換えて算出</p> <p>b 保育標準時間認定の子どもがいる場合 1.4</p> <p>c 休日保育加算を受けている場合 0.5</p> <p>d 栄養管理加算（A：配置）を受けている場合 0.6</p> <p>e 食事の提供について自園調理又は連携施設等からの搬入以外の方法による減算を受けている場合 定員 40 人以下の場合は 1、41 人以上の場合は 2</p> |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 別紙(用語の定義)

### ○「見込平均利用子ども数」

加算当年度内の賃金改善実施期間における各月初日の利用子ども数（広域利用子ども数を含む。）の見込数の総数を賃金改善実施期間の月数で除して得た数をいう。利用子ども数の見込数については、過去の実績等を勘案し、実態に沿ったものとする。

### ○「基礎職員数」

別表の左欄の施設・事業所の区分に応じて同表の右欄により算出される基礎職員数（1人未満の端数は四捨五入）をいう。

別表の右欄による算出に当たっては、年齢別の児童数は、加算当年度の4月時点の利用子ども数又は「見込平均利用子ども数」を用い、各種加算の適用状況は、加算当年度の4月時点の状況により判断する。

### ○「賃金改善実施期間」

加算当年度の賃金の改善を実施する月からその後の最初の3月までをいう。

### ○「加算による改善等見込総額」

「加算による改善見込総額」と「事業主負担増加見込総額」を合計して得た額（千円未満の端数は切り捨て）をいう。

### ○「加算による改善見込総額」

施設・事業所に勤務する各職員について「加算による改善見込額」を合算して得た額をいう。

### ○「加算による改善見込額」

賃金改善実施期間における「賃金見込額」のうち、各施設・事業所で決定する範囲の職員に対し、基本給、手当、賞与又は一時金等のうちから改善を行う賃金の項目を特定した上で、毎月払い、一括払い等の方法により加算額を配分する賃金額をいい、各施設・事業所においてその名称、内訳等を明確に管理しているものをいう。

加算による改善見込額の算定方法について、直近の給与改定時に基本給の引き上げや手当の創設、一時金等の支払いにより前年度より給与を引き上げている場合、その一部を切り出して、加算による改善見込額と整理することは可能。

### ○「事業主負担増加見込総額」

各職員について「加算による改善見込額」に応じて増加することが見込まれる法定福利費等の事業主負担分の額を合算して得た額をいい、次の＜算式＞により算定することを標準とする。

＜算式＞

「加算前年度における法定福利費等の事業主負担分の総額」÷「加算前年度における賃金の総額」×「加算当年度の加算による改善見込額」

- 「加算による改善等実績総額」  
「加算による改善等見込総額」を実績で計算したものをいう。
- 「加算見込額」  
区分2「賃金改善分」及び区分3「質の向上分」の加算見込額をいう。施設・事業所間で区分2の加算見込額の一部の配分を調整する場合には、その受入（抛出）見込額を加える（減じる）こと。
- 「加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金見込総額」  
加算当年度の「全ての職員の賃金見込額の総額（千円未満の端数は切り捨て）」から「加算による改善見込総額」と「定期昇給相当額」と「人件費改定相当分」と「加算当年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額」を除いた賃金見込総額をいう。
- 「賃金見込額」  
加算当年度において職員に支払う見込みの賃金をいう。  
ただし、住居手当、通勤手当、扶養手当など個人的な事情に基づいて支給されるもので、個人的な事情に基づきその額が異なることが給与規程等に規定されている場合、これらを除くこととする。
- 「定期昇給相当額」  
加算当年度における定期昇給として賃金規定や定期昇給前後の月の給与から算出したもの。
- 「人件費改定相当分」  
基準年度の翌年度（以下「基準翌年度」という。）から加算当年度までの公定価格における人件費の改定分をいう。
- 「基準年度における加算額等の影響を除いた賃金総額」  
「基準年度における職員の支払賃金の総額」から、「基準年度における処遇改善等加算の加算額から当該処遇改善等加算の加算額に係る法定福利費分を除いた金額」と「施設独自の改善額」と「基準年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額」を除いた賃金総額に対して、基準年度の翌年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額がある場合はそれを足しあげた額をいう。なお、「基準年度における加算額等の影響を除いた賃金総額」には、基準年度の公定価格における人件費の改定部分が含まれていること。
- 「基準年度」  
次の場合を除き、加算当年度の前年度（以下「加算前年度」という。）をいう。  
i 加算前年度に処遇改善等加算（令和6年度の場合は処遇改善等加算Ⅰ（賃金改善要件分）、Ⅱ、Ⅲのいずれか）の適用を受けておらず、それ以前に処遇改善等加算（令和6年度以前は処遇改善等加算Ⅰ（賃金改善要件分）、Ⅱ、Ⅲのいずれか）の適用を受けている場合は、当該処遇改善等加算の適用を受けた直近の年度

- ii 加算当年度に初めて処遇改善等加算の適用を受けようとする場合（私立高等学校等経常費助成費補助金（以下、「私学助成」という。）を受けていた幼稚園が初めて処遇改善等加算の適用を受ける場合を除く。）は、支援法による確認の効力が発生する年度の前年度（平成 26 年度以前に運営を開始した保育所にあつては、平成 24 年度）。

※ 基準年度に施設・事業所がない場合は、地域又は同一の設置者・事業者における当該年度の賃金水準との均衡が図られていると認められる賃金的水準を基準にすること。

○「基準年度における職員の支払賃金の総額」

加算当年度に在籍している全ての職員に係る基準年度の支払賃金（実績）をいう。

なお、加算当年度に在籍し、基準年度に在籍していない職員がいる場合は、加算当年度と同水準の賃金が基準年度に支払われていたものと仮定して計算するものとする。

○「処遇改善等加算の加算額」

基準年度が令和 7 年度以降の場合は区分 2 と区分 3 の加算額、基準年度が令和 6 年度以前の場合は処遇改善等加算Ⅰ（賃金改善要件分）、Ⅱ、Ⅲの加算額の実績額をいう。施設・事業所間で加算額の一部の配分を調整している場合は、その受入（抛出）額を反映すること。また、基準年度の処遇改善等加算の加算額を基準年度に支払うことができず、その残額として加算当年度に支払った賃金額がある場合はその金額（加算当年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額と同額）を除く。

○「基準年度の処遇改善等加算の加算額に係る法定福利費分」

次の＜算式＞により算定することを標準とする。

＜算式＞

「基準年度における法定福利費等の事業主負担分の総額」÷「基準年度における賃金の総額」×「基準年度の処遇改善等加算の加算額」

○「施設独自の改善額」

基準年度において、処遇改善等加算の加算額や人件費改定相当分、定期昇給分を超えて施設独自に賃金改善を行った金額。具体的には、支給額や支給方法（基本給・手当等）、対象者の記載を求めて自治体で確認したものをいう。

金額の算定方法については、以下の方法を用いることが可能。

（基準年度が令和 6 年度以前の場合）

処遇改善等加算Ⅰ（賃金改善要件分）、Ⅱ、Ⅲの適用を受けている施設は起点賃金水準を下回っていない（新規事由有の場合は賃金改善等実績総額が特定加算額を下回っていない）ことを踏まえ、

・ 「基準年度の処遇改善等加算Ⅰ（賃金改善要件分）、Ⅱ、Ⅲの加算額の合計額」が「基準年度の前年度の当該加算額の合計額」と比べて少ない場合はその差額

- ・ 「基準年度の処遇改善等加算Ⅰ（賃金改善要件分）、Ⅱ、Ⅲの加算額の合計額（A）」が「基準年度の前年度の当該加算額の合計額（B）」を上回った額（C）より、基準年度における支払賃金総額（D）が起点賃金水準（E）を上回った額（F）の方が大きい場合はその差額（G）

＜算式＞

$$(A) - (B) = (C)$$

$$(D) - (E) = (F)$$

$$(F) - (C) = (G)$$

（基準年度が令和7年度以降の場合）

「加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金総額」が「基準年度における加算額等の影響を除いた賃金総額」を上回っている部分の金額。

○「加算率（a）」「加算率（b）」「加算率（c）」

加算率（a）は区分1（基礎分）における職員1人当たりの平均経験年数の区分に応じた割合をいう。

加算率（b）は区分2（賃金改善分）における職員1人当たりの平均経験年数の区分及びキャリアパス要件分に応じた割合をいう。

加算率（c）は区分2（賃金改善分）（向上支援費区分2を除く）における告示の別表に規定する割合をいう。

向上支援費区分2の加算率（c）は以下の向上支援費区分2加算率適用表に規定する割合をいう。

（向上支援費区分2加算率適用表）

| 加算項目          | 加算率（c）                       |
|---------------|------------------------------|
| 職員配置加算（1歳児）   | 告示の別表の1歳児配置改善加算の加算率（c）に準じる   |
| 職員配置加算（2歳児）   | 告示の別表の1歳児配置改善加算の加算率（c）に準じる   |
| 職員配置加算（4・5歳児） | 告示の別表の4歳以上児配置改善加算の加算率（c）に準じる |
| 職員配置加算（休日）    | 告示の別表の休日保育加算の加算率（c）に準じる      |

令和 年度加算率等認定申請書（処遇改善等加算）

横浜市長

令和 年 月 日

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市 町 村 名  | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業種別  |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

当該年度の区分1、2（a、b）に係る加算率の認定について、次のとおり申請します。また、次の事項について相違ありません。

- 1
- その他の社会福祉施設の総経年数については、個々の履歴を確認の上、積算対象施設を記載した『職員履歴報告書（処遇改善等加算）（A票）（第1号様式の2）』や『職員状況報告書（処遇改善等加算）（B票）（第1号様式の3）』を別途提出し、内容を確認していること。
- 2
- 当該年度4月1日現在、産休・育休の職員がいる場合は有給・無休問わず記載すること。病休・休職の職員がいる場合は、有給の場合のみ記載していること。

（1）加算率

| ①区分1（基礎分 a）<br>（平均経年数に基づき設定） |   | ②区分2（賃金改善分 割合b）<br>※③が否の場合は、キャリアパス要件分の値を減じるこ<br>と。 |  | ③キャリア<br>パス要件※ |        | 加算率（①＋②） |   |
|------------------------------|---|----------------------------------------------------|--|----------------|--------|----------|---|
|                              | % | 選<br>択                                             |  | %              | 選<br>択 |          | % |

※「適」で前年度から取組内容に変更がない場合を除き、第3号様式を添付すること。

※「否」の場合、②の割合から2%減じること。

（2）職員1人当たりの平均経年数の算定

|   |   |   |   |        |   |   |                                                        |                             |   |
|---|---|---|---|--------|---|---|--------------------------------------------------------|-----------------------------|---|
| A | 人 | B | 年 | か<br>月 | C | 年 | 職員1人当たり平均経年数<br>【算式】 $B \div A = C$ （6月以上の<br>端数は切り上げ） | 職員処遇改善費の<br>対象となる人数<br>（※4） | 人 |
|---|---|---|---|--------|---|---|--------------------------------------------------------|-----------------------------|---|

| 氏 名 |  | 職 種 | 現に勤務する施設・事業所で、直<br>近の算定対象と<br>なった日 | ア<br>現に勤務する<br>施設・事業所の<br>経年数 | イ<br>その他の施設・<br>事業所の<br>総経年数 | ウ 合計 | ア＋イ | A<br>／<br>B<br>票 | 育<br>休<br>等 |
|-----|--|-----|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------|-----|------------------|-------------|
| 1   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |
| 2   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |
| 3   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |
| 4   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |
| 5   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |
| 6   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |
| 7   |  |     |                                    | 年 月                           | 年 月                          | 年 月  | 年 月 |                  |             |

- ※1
- 「①その職種にかかわらず、②当該年度の4月1日現在に、当該施設・事業所に勤務する全ての③常勤職員」を記載する。  
対象者の詳細について必ず「子ども・子育て支援新制度 令和7年度説明テキスト 処遇改善等加算区分1・2申請事務  
手続き編」にて詳細を確認すること。
- ※2
- 経年年月数は、当年度4月1日現在により算定する。新たな職員の職歴証明書、年金加入記録等の写しの確認を含め、  
その他の社会福祉施設の総経年数については、個々の履歴を確認の上、積算対象施設を記載した第1号様式の2及び3を  
別途提出していること。
- ※3
- 平均経年数は、6か月以上の端数は1年とし、6か月未満の端数は切り捨てとする。
- ※4
- 職員処遇改善費の対象となる人数は、職種が「保育士」「保育教諭」「教諭」「保健師・助産師・看護師・准看護師」で、  
経年数が7年0か月以上の職員とする。

職員履歴報告書(処遇改善等加算)(A票)

NO

秘

※NO欄は記入しないでください

【現在の勤務施設・状況】

|     |  |        |    |   |   |   |
|-----|--|--------|----|---|---|---|
| 施設名 |  | (フリガナ) |    |   |   |   |
|     |  | 氏名     |    |   |   |   |
|     |  | 生年月日   | 選択 | 年 | 月 | 日 |

|     |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|
| 資格欄 | 資格の種類 | 取得年月日 |       |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
| 表彰欄 | 表彰の種類 | 受賞年月日 |       |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |
|     |       | ↓選択   | 年 月 日 |

※国や市の表彰者の推薦のための参考とさせていただく場合があります。

【その他の施設の勤務履歴】

- 注1) 積算対象の施設における勤務歴のみ記入すること。
- 注2) 自施設での過去の勤務歴も記入すること。
- 注3) 直近のものから順番に遡って記入し、勤務期間の重複がないかを確認すること。
- 注4) 休職から復帰の場合は、休職取得前の経歴を【その他の施設の勤務歴】に記入すること。
- 注5) 常勤職員又は1日6時間かつ月20日以上勤務していた施設のみ記入すること。

|                                           |   |                      |   |        |
|-------------------------------------------|---|----------------------|---|--------|
| 右記の年数を別紙様式1の対象者の<br>イ「その他の施設・事業所の経験年数」に記入 | ⇒ | その他の施設・事業所の<br>総経験年数 | 年 | か<br>月 |
|-------------------------------------------|---|----------------------|---|--------|

|   |      |      |     |              |     |
|---|------|------|-----|--------------|-----|
| ① | 施設名称 | 認可   | 認可外 | 所在地          |     |
|   | 職 種  | 勤務期間 | ～   | 施設①<br>の経験年数 | 年 月 |
| ② | 施設名称 | 認可   | 認可外 | 所在地          |     |
|   | 職 種  | 勤務期間 | ～   | 施設②<br>の経験年数 | 年 月 |
| ③ | 施設名称 | 認可   | 認可外 | 所在地          |     |
|   | 職 種  | 勤務期間 | ～   | 施設③<br>の経験年数 | 年 月 |
| ④ | 施設名称 | 認可   | 認可外 | 所在地          |     |
|   | 職 種  | 勤務期間 | ～   | 施設④<br>の経験年数 | 年 月 |
| ⑤ | 施設名称 | 認可   | 認可外 | 所在地          |     |
|   | 職 種  | 勤務期間 | ～   | 施設⑤<br>の経験年数 | 年 月 |
| ⑥ | 施設名称 | 認可   | 認可外 | 所在地          |     |
|   | 職 種  | 勤務期間 | ～   | 施設⑥<br>の経験年数 | 年 月 |

職員状況報告書（処遇改善等加算）（B票）



横浜市長

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市町村      | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業種別  |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

（前年度 4 月 2 日から当年度 4 月 1 日までに変更があった職員）

| 氏名 | 変更事項 | 変更前 | 変更後 | 変更年月日 | 備考 |
|----|------|-----|-----|-------|----|
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |
|    |      |     |     |       |    |

- 注 1） 同一法人経営の施設・事業所での異動は「異動」とすること。
- 注 2） 勤務時間の短縮等により、平均経験年数の算定対象外となった職員が、翌年度以降再び平均経験年数の算定対象となった場合は改めて『加算率認定申請書（処遇改善等加算）（第 1 号様式の 1）』及び『職員履歴報告書（処遇改善等加算）（A票）（第 1 号様式の 2）』を提出すること。
- 注 3） 休職は「無給」の場合のみ記入すること。復職した場合は、改めて『加算率認定申請書（処遇改善等加算）（第 1 号様式の 1）』及び『職員履歴報告書（処遇改善等加算）（A票）（第 1 号様式の 2）』を提出すること。
- 注 4） 変更事項が「その他」の場合は、変更内容を備考欄に記載すること。

# 第1号様式の4

## キャリアパス要件届出書（令和 年度）

令和 年 月 日

横浜市長

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市町村      | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業種別  |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

下記について、すべての職員に対し、周知したうえで、提出していることを証明いたします。

### キャリアパスに関する要件について

|                                                     |  |
|-----------------------------------------------------|--|
| 次の内容について、太枠内（適・否）を選択すること。<br>（①及び②に該当していれば本要件を満たす。） |  |
| ① 次のaからcまでのすべての要件を満たす。                              |  |
| a 職員の職位、職責又は職務内容等に応じた勤務条件等の要件を定めている。（注1）            |  |
| b 職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系について定めている。（注2）                |  |
| c 就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、すべての職員に周知している。（注3）           |  |

注1） ①aの勤務条件とは、始業・就業時刻、休憩時間、休日、休暇、退職、就業時転換のことをいう。

注2） ①bの賃金体系とは、賃金の決定・計算・支払いの方法、締日・支払の時期、昇給等のことをいう。

注3） ①cの就業規則は、労働契約就業規則に準じる。

注4） ②eアは、記入に変えて各施設・事業所で定めた年間の研修計画及び研修参加計画を添付することでも可。

### ＜資質向上のための目標設定について＞

保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、施設・事業所の果たすべき役割をきちんと認識したうえで、各施設・事業所の特色、重視していること（強み）、これから伸ばしていきたいところといった視点で、職員と意見交換を行って目標を策定してください。

すでに、資質向上の目標がある場合も、この機会に職員との意見交換を行い、再度共有を図ってください。

### ＜具体的な取り組み内容＞

目標を達成するための具体的な取り組みは、目標に対応するよう、それぞれ経験年数や職位、階層ごとに具体的に設定してください。

保育所保育指針及び保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領及び幼稚園教育要領解説や幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説で求められる職員の資質や能力の習得及び向上のために必要な研修や取組を実施してください。

また、市や各区で行う研修、国や各種団体が行う研修への参加機会を提供してください。さらに、研修実施や参加だけでなく、業務を通じた研修（OJT）をどのように行うかといった視点を盛り込んだ研修計画であることが望ましいと考えます。

※個人で実施している家庭的保育事業等であっても、キャリアパス要件、就業規則、賃金体系、補助員等の給与規定の整備や研修計画の策定・実施等ができていれば、適用になります。

### ＜添付資料＞太枠内の当てはまる資料の□にレ点を入れること。

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 就業規則等勤務状況等が定められていることが分かるもの       |
| <input type="checkbox"/> 給与表や昇給・昇格等について記された賃金体系等がわかるもの    |
| <input type="checkbox"/> 資質向上のための研修計画策定と実施、能力評価の仕組みが分かるもの |

|     |   |              |             |
|-----|---|--------------|-------------|
| 横浜市 | 区 | 施設・事業所<br>番号 | 施設・<br>事業所名 |
|-----|---|--------------|-------------|

②次の d 及び e の要件を満たす。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 目指すべき姿（保育理<br>念・教育理念） |  |
|-----------------------|--|

| d                                     |  | e                                                                                                             |                                     |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 職員との意見交換を踏まえた資質向上のための具体的な目標を策定していること。 |  | d の実現のための具体的な取り組み内容を計画していること。                                                                                 |                                     |
|                                       |  | ア                                                                                                             | イ                                   |
|                                       |  | 資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、そのフィードバックを行っていること。研修実施・参加、業務を通した指導（OJT）、他施設・事業者や地域子育て支援事業との交流等を記載すること。 | 資格取得のための支援の実施※当該支援の内容について下記に記載すること。 |
| 全体                                    |  | 全体                                                                                                            |                                     |
| 初任者<br>向け                             |  | 初任者<br>向け                                                                                                     |                                     |
| 中堅向<br>け                              |  | 中堅向<br>け                                                                                                      |                                     |
| 主任・<br>ベテラ<br>ン向け                     |  | 主任・<br>ベテラ<br>ン向け                                                                                             |                                     |
| 指導職<br>員・管<br>理職層<br>向け               |  | 指導職<br>員・管<br>理職層<br>向け                                                                                       |                                     |

第2号様式の1

令和 年度賃金改善計画書（処遇改善等加算）

|             |     |   |
|-------------|-----|---|
| 市 町 村       | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業所種別    |     |   |
| 施設・事業所番号    |     |   |
| 施設・事業所名称    |     |   |
| 代 表 者 ・ 氏 名 |     |   |

（1）加算額以上の賃金の改善について

|                                | 区分2<br>「賃金改善分」 | 区分3<br>「質の向上分」 | 職員処遇改善費 | 区分2         |  |
|--------------------------------|----------------|----------------|---------|-------------|--|
| ① 加算見込額                        | 円              | 円              | 円       | 区分3         |  |
| ② 加算による改善等見込総額（①の額<br>以上であること） | 円              | 円              | 円       | 職員処遇改<br>善費 |  |
| うち、加算による改善見込総額                 | 円              | 円              | 円       |             |  |
| うち、事業主負担増加見込総額                 | 円              | 円              | 円       |             |  |

※区分2「賃金改善分」には向上支援費区分2を含む。

（2）加算以外の部分で賃金水準を下げていないことについて

|   |                                                                |  |   |
|---|----------------------------------------------------------------|--|---|
| ① | 加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金見込総額（②を下回らないこと）<br>(a)-(b)-(c)-(d)-(e) |  | 円 |
|   | (a) 加算当年度の賃金見込総額                                               |  | 円 |
|   | (b) 加算当年度の加算による改善見込総額                                          |  | 円 |
|   | (c) 定期昇給相当額（加算当年度における昇給分）                                      |  | 円 |
|   | (d) 基準翌年度から加算当年度までの公定価格における人件費の改定部分                            |  | 円 |
|   | (e) 加算当年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額                               |  | 円 |
| ② | 基準年度における加算額等の影響を除いた支払賃金総額 (f)- {(g)-(h)} -(i)-(j)+(k)+(l)      |  | 円 |
|   | (f) 基準年度の支払賃金の総額                                               |  | 円 |
|   | (g) 基準年度の処遇改善等加算の加算額                                           |  | 円 |
|   | (h) 基準年度の処遇改善等加算の加算額に係る法定福利費分                                  |  | 円 |
|   | (i) 施設独自の改善額                                                   |  | 円 |
|   | (j) 基準年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額                                |  | 円 |
|   | (k) 基準年度に支払うべき残額に対応した翌年度の賃金額                                   |  | 円 |
|   | (l) 基準年度の公定価格における人件費の改定部分                                      |  | 円 |

（3）施設独自の改善額について

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 施設独自の賃金改善額の<br>具体的な取組内容 |  |
| 施設独自の賃金改善額の<br>算定根拠     |  |

（4）他施設・事業所への配分等について

|         | 区分2「賃金改善分」 |
|---------|------------|
| ① 拠出見込額 | 円          |
| ② 受入見込額 | 円          |

※ 第2号様式の4「同一の事業者内における拠出見込額・受入見込額一覧表」を添付すること。

上記について相違ないことを証明いたします。

令和 年 月 日  
事 業 者 名  
代 表 者 名

第2号様式の2

賃金改善明細書(職員別表)

基準年度の賃金には実際に支払った額を入力してください。ただし、定年後の再雇用・育児休業取得等の事由により加算当年度の賃金と比較することが適切でない場合、加算当年度と同等の賃金水準と仮定して計算し、加算当年度の賃金との比較に適した値で計算・入力してください。

|          |      |
|----------|------|
| 市町村      | 横浜市区 |
| 施設・事業所種別 |      |
| 施設・事業所番号 |      |
| 施設・事業所名称 |      |
| 代表者・氏名   |      |

○加算当年度の全ての職員の賃金改善明細

| No                 | 職員名      | 改善<br>実施<br>有無 | 職種               | 資格 | 経験<br>年数<br>※1 | 常勤<br>非常勤<br>※2 | 常勤<br>換算<br>値<br>※3 | 基準年度の賃金      |                  |                           |          |                             |                          |                                                  | 加算当年度の賃金 |              |                            |      |  |  |            |    |          |            |          |      |  | 備考 |                           |                                 |                              |                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------------|----------|----------------|------------------|----|----------------|-----------------|---------------------|--------------|------------------|---------------------------|----------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------|----------|--------------|----------------------------|------|--|--|------------|----|----------|------------|----------|------|--|----|---------------------------|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|                    |          |                |                  |    |                |                 |                     | ①            | ②                | ③                         | ④        | ⑤                           | ⑥                        | ⑦                                                | ⑦の内訳     | ⑧            | ⑨                          | ⑨の内訳 |  |  |            | ⑩  | ⑩の詳細     |            | ⑪        | ⑪の詳細 |  |    | ⑫                         | ⑬                               | ⑭                            | ⑮                                           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                    |          |                |                  |    |                |                 |                     | 基準年度の支払賃金の総額 | 基準年度の処遇改善等加算の加算額 | 基準年度の処遇改善等加算の加算額に係る法定福利費分 | 施設独自の改善額 | 基準年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額 | 基準年度に支払うべき残額に対応した翌年度の賃金額 | 基準年度における加算額等の影響を除いた支払賃金総額<br>①－②－③<br>④－⑤－⑥＋⑦の内訳 |          | 加算当年度の賃金見込総額 | 区分2「賃金改善分」<br>※向上支援費区分2を含む |      |  |  | 区分3「質の向上分」 |    |          |            | 職員処遇改善費  |      |  |    | 定期昇給相当額<br>(加算当年度における昇給分) | 基準翌年度から加算当年度までの公定価格における人件費の改定部分 | 加算当年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額 | 加算当年度における改善額等の影響を除いた賃金見込総額<br>⑧－⑨－⑩－⑪－⑫－⑬－⑭ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                    |          |                |                  |    |                |                 |                     |              |                  |                           |          |                             |                          |                                                  |          |              | 加算による改善見込額                 |      |  |  | 加算による改善見込額 | 職名 | 改善した給与項目 | 加算による改善見込額 | 改善した給与項目 |      |  |    |                           |                                 |                              |                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 小計<br>⑨<br>(a+b+c) | 基本給<br>a | 手当<br>b        | 賞与<br>(一時金)<br>c |    |                |                 |                     |              |                  |                           |          |                             |                          |                                                  |          |              |                            |      |  |  |            |    |          |            |          |      |  |    |                           |                                 |                              |                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1                  |          |                |                  |    |                |                 |                     |              |                  |                           |          |                             |                          |                                                  |          |              |                            |      |  |  |            |    |          |            |          |      |  |    |                           |                                 |                              |                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

【記入における留意事項】  
施設・事業所に加算当年度に勤務している職員全員（職種を問わず、非常勤を含む。）を記載すること。  
備考欄には、年度途中の採用や退職がある場合にはその旨、また、賃金改善額が他の職員と比較して高額（低額、賃金改善を実施しない場合も含む）である場合にはその理由を記載すること。  
※1 経験年数については、第4の2によるものとする。  
※2 「常勤」とは、当該施設・事業所の就業規則において定められている常勤の従事者が勤務すべき時間数（教育・保育に従事する者にあつては、1か月に勤務すべき時間数が120時間以上であるものに限る。）に達している者又は当該者以外の者であつて1日6時間以上かつ月20日以上勤務するものをいい、「非常勤」とは常勤以外の者をいう。  
※3 常勤換算値について、常勤の者については1.0とし、非常勤の者については下記の算式によって得た値とする。  
算式 常勤以外の職員の1か月の勤務時間数の合計÷各施設・事業所の就業規則等で定めた常勤職員の1か月の勤務時間数＝常勤換算値

賃金改善確認書（令和 年度）

横浜市長

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市町村      | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業所種別 |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

☒ 『賃金改善計画書(処遇改善等加算)（第 2 号様式の 1）』に基づき、賃金改善が行われることの説明を行いました。

☐ 『賃金改善実績報告書(処遇改善等加算)（第 6 号様式の 1）』に基づき、賃金改善を行ったことを対象者と確認いたしました。

| N0 | 対象の加算 <small>注 4)</small> |      |      | 確認日         | 実施計画時<br>氏名 | 確認日         | 実績報告時<br>氏名 |
|----|---------------------------|------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|    | 区分<br>2                   | 区分 3 | 職員処遇 |             |             |             |             |
| 例  | ○                         | ○    |      | ○ 年 ○ 月 ○ 日 | 横浜 太郎       | ● 年 ● 月 ● 日 | 横浜 太郎       |
| 1  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 2  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 3  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 4  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 5  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 6  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 7  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 8  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 9  |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 10 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 11 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 12 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 13 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 14 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 15 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 16 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 17 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 18 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 19 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |
| 20 |                           |      |      | R 年 月 日     |             | R 年 月 日     |             |

|  |          |          |
|--|----------|----------|
|  | 令和 年 月 日 | 令和 年 月 日 |
|  | 施設・事業所名  | 施設・事業所名  |
|  | 代表者名     | 代表者名     |

- 注 1) 代表者は策定した「賃金改善計画」について、施設・事業所に勤務するすべての職員に対し周知した後、周知した日（確認日）と賃金改善の対象となる職員名（実施計画時氏名）を入力すること。
- 注 2) 代表者は賃金改善実施後、実績報告時には、賃金改善実施結果を説明した日（確認日）と賃金改善の対象となった職員名（実績報告時氏名）を入力すること。
- 注 3) 各職員の対象の加算を選択。なお、複数が対象の場合は、対象となる加算の全てを選択すること。
- 注 4) 「区分 2」は「向上支援費区分 2」を含む。

第2号様式の4

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市町村      | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業所種別 |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者・氏名   |     |   |

同一の事業者内における拠出見込額・受入見込額一覧表

| 番号  | 都道府県名 | 市町村名 | 施設・事業所名※1 | 他事業所への拠出額<br>(円) | 他事業所からの受入額<br>(円) |
|-----|-------|------|-----------|------------------|-------------------|
| 例 1 | 〇〇県   | 〇〇市  | 〇〇保育所     | 200,000          |                   |
| 1   | 神奈川県  | 横浜市  |           |                  |                   |
| 2   |       |      |           |                  |                   |
| 3   |       |      |           |                  |                   |
| 4   |       |      |           |                  |                   |
| 5   |       |      |           |                  |                   |
| 6   |       |      |           |                  |                   |
| 7   |       |      |           |                  |                   |
| 8   |       |      |           |                  |                   |
| 9   |       |      |           |                  |                   |
| 合計  |       |      |           |                  |                   |

※1 同一事業者が運営する全ての施設・事業所（特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所）について記入すること。

第3号様式

令和 年度 賃金改善の誓約書

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市 町 村    | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業所種別 |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名  |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

1. 当年度の加算見込額

|       | 区分2<br>「賃金改善分」 | 区分3<br>「質の向上分」 | 職員処遇改善費 |
|-------|----------------|----------------|---------|
| 加算見込額 | 円              | 円              | 円       |

※区分2「賃金改善分」には向上支援費区分2を含む。

2. 賃金改善に係る誓約について

・処遇改善等加算の要件について、下欄の項目に○を入れることで誓約する。

|  |                     |
|--|---------------------|
|  | 加算額を賃金の改善に充てます。     |
|  | 加算以外の部分で賃金水準を下げません。 |

- ※1. 「加算額を賃金の改善に充てます」とは、区分2「賃金改善分」、区分3「質の向上分」及び職員処遇改善費のそれぞれにおいて、「加算による改善等見込総額」が「加算見込額」を下回らないことを意味します。
- ※2. 「加算以外の部分で賃金水準を下げない」とは、「①加算当年度の加算による改善額等の影響を除いた賃金見込総額」が「②基準年度における加算額等の影響を除いた支払賃金総額」を下回っていないことを意味します。
- ※3. 誓約書の提出後に状況等が変わり、加算額が変わった場合でも改めて提出することは不要です。
- ※4. 利用者数の大幅な減少等の影響により、結果として加算以外の部分で賃金下がった場合には、その事情を第7号様式「特別な事情に係る届出書」により届け出ることで算定要件を満たすこととします。

上記について、すべての職員に対し、周知をした上で、提出していることを証明いたします。

令和 年 月 日

事業 者 名

代 表 者 名

第4号様式

令和 年度加算算定対象人数等認定申請書(区分3(質の向上分)及び職員処遇改善費)

令和 年 月 日

横浜市長

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市町村      | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業種別  |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

下記について、相違ないことを証明いたします。

(1)処遇改善等加算 区分3の要件について

|                                                                          |  |  |
|--------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 次の内容について、「該当」「非該当」を選択してください。                                             |  |  |
| 職員の職位、職責又は職務内容に応じた勤務条件等の要件及びこれに応じた賃金体系を定め、すべての職員に周知している。加算額の算定に係る研修修了者が1 |  |  |

加算額の算定に用いる職員数について

|                   |                    |  |
|-------------------|--------------------|--|
| ① 加算対象人数の基礎となる職員数 |                    |  |
| ② 加算対象人数          | 基礎職員数(①×1/3)＝基準人数A |  |
|                   | 基礎職員数(①×1/5)＝基準人数B |  |
| ③ 修了人数            | 修了人数A              |  |
|                   | 修了人数B              |  |

(2)職員処遇改善費の要件について

|                                                  |  |  |
|--------------------------------------------------|--|--|
| 次の内容について、「該当」「非該当」を選択してください。                     |  |  |
| 処遇改善等加算 区分3－①(副主任保育士等に係る加算)を適用しており、職員処遇改善費を適用する。 |  |  |

加算額の算定に用いる職員数について

|                      |  |
|----------------------|--|
| 職員処遇改善費の加算対象職員数「人数C」 |  |
|----------------------|--|

※処遇改善等加算区分1・2の加算率等認定申請書(処遇改善等加算)(第1号様式の1)に記載された経験年数7年0か月以上の職員のうち、「保育士」「保育教諭」「教諭」「保健師・助産師・看護師・准看護師」に限ります。

第 5 号様式の 1  
令和 年度 研修受講履歴一覧 集計表 （保育所・地域型保育事業所）

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 所在区      |  | 区 |
| 施設・事業所種別 |  |   |
| 施設・事業所番号 |  |   |
| 施設・事業所名  |  |   |
| 代表者職・氏名  |  |   |

| No | 氏名 | 職位 |
|----|----|----|
| 1  |    |    |
| 2  |    |    |
| 3  |    |    |
| 4  |    |    |
| 5  |    |    |
| 6  |    |    |
| 7  |    |    |
| 8  |    |    |
| 9  |    |    |
| 10 |    |    |
| 11 |    |    |
| 12 |    |    |
| 13 |    |    |
| 14 |    |    |
| 15 |    |    |
| 16 |    |    |
| 17 |    |    |
| 18 |    |    |
| 19 |    |    |
| 20 |    |    |
| 21 |    |    |
| 22 |    |    |
| 23 |    |    |
| 24 |    |    |
| 25 |    |    |
| 26 |    |    |
| 27 |    |    |
| 28 |    |    |
| 29 |    |    |
| 30 |    |    |

第5号様式の1

令和 年度 研修受講履歴一覧 名簿（保育所・地域型保育事業所）

|          |   |
|----------|---|
| 所在区      | 区 |
| 施設・事業所種別 |   |
| 施設・事業所番号 |   |
| 施設・事業所名  |   |
| 代表者職・氏名  |   |

|                     |  |
|---------------------|--|
| 職位                  |  |
| 氏名                  |  |
| 幼稚園又は認定こども園に勤務していた者 |  |

↓各行最後に入力↓

| No | 修了年月日<br>(例: R2. 6. 1)<br>※研修種別～<br>研修分野入力後に<br>入力してください | 研修種別 | 実施主体<br>※研修種別を入力後に選択してください | 講義名・テーマ | 修了証番号 | 研修分野<br>※職位を入力後に選択<br>してください | 横浜市（区）主<br>催研修等の<br>修了時間数<br>(単位: 時間) | 備考 |
|----|----------------------------------------------------------|------|----------------------------|---------|-------|------------------------------|---------------------------------------|----|
| 1  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 2  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 3  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 4  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 5  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 6  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 7  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 8  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 9  |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 10 |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 11 |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 12 |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 13 |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 14 |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |
| 15 |                                                          |      |                            |         |       |                              |                                       |    |

【留意事項】

- (1) 「修了年月日」は、研修修了証の年月日又は研修を受講した年月日を記入する。
- (2) 幼稚園又は認定こども園に勤務していた者は幼稚園教育要領等を踏まえて教育の質を高めるための知識・技術の向上を目的とした研修を15時間以上受講していた場合、1分野修了とできる。できるだけ速やかに保育士等キャリアアップ研修の受講を促すこと。
- (3) 保育実践研修は平成29年度から令和元年度までに実施されたものに限り含めることができる。また、平成29年度から令和元年度までに実施されたマネジメント研修については専門分野別研修に含めることができる。(副主任保育士は令和2年度以降も含めることができる。)
- (4) 研修受講履歴一覧の内容を確認できる資料（保育士等キャリアアップ研修修了証の写等）を施設において保管すること。
- (5) 行が足りない場合は、No2～14の行を選択し、挿入してください。

第 5 号様式の 2

令和    年度    研修受講履歴一覧    集計表

(幼稚園・認定こども園)

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 所在区      |  | 区 |
| 施設・事業所種別 |  |   |
| 施設・事業所番号 |  |   |
| 施設・事業所名  |  |   |
| 代表者職・氏名  |  |   |

| No | 氏名 | 職位 | 修了時間数 |
|----|----|----|-------|
| 1  |    |    |       |
| 2  |    |    |       |
| 3  |    |    |       |
| 4  |    |    |       |
| 5  |    |    |       |
| 6  |    |    |       |
| 7  |    |    |       |
| 8  |    |    |       |
| 9  |    |    |       |
| 10 |    |    |       |
| 11 |    |    |       |
| 12 |    |    |       |
| 13 |    |    |       |
| 14 |    |    |       |
| 15 |    |    |       |
| 16 |    |    |       |
| 17 |    |    |       |
| 18 |    |    |       |
| 19 |    |    |       |
| 20 |    |    |       |
| 21 |    |    |       |
| 22 |    |    |       |
| 23 |    |    |       |
| 24 |    |    |       |
| 25 |    |    |       |
| 26 |    |    |       |
| 27 |    |    |       |
| 28 |    |    |       |
| 29 |    |    |       |
| 30 |    |    |       |

|    |  |
|----|--|
| 職位 |  |
| 氏名 |  |

↓ 各行最後に入力 ↓

|          |   |
|----------|---|
| 所在区      | 区 |
| 施設・事業種別  |   |
| 施設・事業所番号 |   |
| 施設・事業所名  |   |
| 代表者職・氏名  |   |

| No | 修了年月日<br>(例: R2. 6. 1)<br>※実施主体～<br>修了時間入力後<br>入力してくださ<br>い | 実施主体 | 講義名・テーマ | キャリアアップ研修<br>研修分野<br>※施設情報・職位を入<br>力後に選択してくださ<br>い | 修了証番号 | マネジメント<br>分野に係る<br>研修の場合は<br>○ | 園内研修 | 修了時間数 | 備考 |
|----|-------------------------------------------------------------|------|---------|----------------------------------------------------|-------|--------------------------------|------|-------|----|
| 1  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 2  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 3  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 4  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 5  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 6  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 7  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 8  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 9  |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 10 |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 11 |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 12 |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 13 |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 14 |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |
| 15 |                                                             |      |         |                                                    |       |                                |      |       |    |

【留意事項】

- (1) 研修ごとに1行で記載する。
- (2) 「修了年月日」は、研修修了証の年月日又は研修を受講した年月日を記入する。
- (3) 園内研修（幼稚園等）を対象としたい場合は、「園内研修実施状況」を添付する。
- (4) 一覧の内容を確認できる資料（幼稚園教諭免許状更新講習修了証明書（履修証明書）の写し等）を施設において保管する。
- (5) 行が足りない場合は、No 2～59の行を選択し、挿入してください。

令和 年度賃金改善実績報告書（処遇改善等加算）

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市 町 村 名  | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 施設・事業所種別 |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

（1）加算額以上の賃金改善について

|                            | 区分2<br>「賃金改善分」 | 区分3<br>「質の向上分」 | 職員処遇改善費 | 区分2     |  |
|----------------------------|----------------|----------------|---------|---------|--|
| ① 加算額                      |                |                |         | 区分3     |  |
| ② 加算による改善等実績総額（①の額以上であること） |                |                |         | 職員処遇改善費 |  |
| うち、加算による改善実績総額             |                |                |         |         |  |
| うち、事業主負担増加総額               |                |                |         |         |  |

※区分2「賃金改善分」には向上支援費区分2を含む

（2）加算以外の部分で賃金水準を下げていないことについて

|                                                                    |  |   |  |
|--------------------------------------------------------------------|--|---|--|
| ① 加算当年度における改善額等の影響を除いた支払賃金総額（②を下回らないこと）<br>(a)-(b)-(c)-(d)-(e)+(l) |  | 円 |  |
| (a) 加算年度の支払賃金総額                                                    |  | 円 |  |
| (b) 加算当年度の加算による改善実績総額                                              |  | 円 |  |
| (c) 定期昇給相当額                                                        |  | 円 |  |
| (d) 基準翌年度から加算当年度までの公定価格における人件費の改定部分                                |  | 円 |  |
| (e) 加算当年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額                                   |  | 円 |  |
| (l) 超過勤務手当等に係る調整額                                                  |  | 円 |  |
| ② 基準年度における加算額等の影響を除いた支払賃金総額<br>(f)-{(g)-(h)}-(i)-(j)+(k)           |  | 円 |  |
| (f) 基準年度の支払賃金の総額                                                   |  | 円 |  |
| (g) 基準年度の処遇改善等加算の加算額                                               |  | 円 |  |
| (h) 基準年度の処遇改善等加算の加算額に係る法定福利費分                                      |  | 円 |  |
| (i) 施設独自の改善額                                                       |  | 円 |  |
| (j) 基準年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額                                    |  | 円 |  |
| (k) 基準年度に支払うべき残額に対応した翌年度の賃金額                                       |  | 円 |  |

|                       |  |   |                    |  |   |
|-----------------------|--|---|--------------------|--|---|
| 加算以外の部分で賃金水準を下げた場合②－① |  | 円 | うち既に支払った額          |  | 円 |
|                       |  |   | 現時点での未払い分（上記金額の差額） |  | 円 |

未払い分の支払対象・方法・期日など

☐ 未払い額を、上記内容に従って確実に職員に支払うことを誓約します。

(3) 施設独自の改善額について

④【第6号様式の2】賃金改善明細（職員別表）の「施設独自の改善額合計欄（M111セル）」に金額を入力した場合のみ作成してください↓

|                     |  |
|---------------------|--|
| 施設独自の賃金改善額の具体的な取組内容 |  |
| 施設独自の賃金改善額の算定根拠     |  |

(4) 加算当年度の前年度に支払うべき残額がある場合の支払い状況（令和 年度の残額がある場合に記載）

|   |                              | 旧処遇改善等加算Ⅰ（うち賃金改善要件分）と旧処遇改善等加算Ⅲの残額（合計額）がある場合 | 旧処遇改善等加算Ⅱの残額がある場合 | 職員処遇改善費の残額がある場合 |                    |  |
|---|------------------------------|---------------------------------------------|-------------------|-----------------|--------------------|--|
| ① | 加算当年度の前年度に支払うべき残額            | 円                                           | 円                 | 円               | 旧処遇Ⅰ（賃金改善要件分）+旧処遇Ⅲ |  |
| ② | 加算当年度の前年度に支払うべき残額に対応した支払い賃金額 | 円                                           | 円                 | 円               | 旧処遇Ⅱ               |  |
| ③ | 加算当年度の前年度に支払うべき残額の未払い額       | 円                                           | 円                 | 円               | 職員処遇改善費            |  |

○賃金改善方法について

旧処遇Ⅰ（賃金改善要件分）と旧処遇Ⅲ

※令和 年度の加算残額を令和 年度中に支払い切れていない場合は、その未払い額について支払方法等を入力してください。

|            |  |        |
|------------|--|--------|
| 支払う予定の給与項目 |  | 基本給    |
|            |  | 手当     |
|            |  | 賞与・一時金 |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 具体的な支払い方法<br>（支払時期・対象者も記載してください。） |  |
|-----------------------------------|--|

旧処遇Ⅱ

※令和 年度の加算残額を令和 年度中に支払い切れていない場合は、その未払い額について支払方法等を入力してください。

|            |  |        |
|------------|--|--------|
| 支払う予定の給与項目 |  | 基本給    |
|            |  | 手当     |
|            |  | 賞与・一時金 |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 具体的な支払い方法<br>（支払時期・対象者も記載してください。） |  |
|-----------------------------------|--|

職員処遇改善費

※令和 年度の加算残額を令和 年度中に支払い切れていない場合は、その未払い額について支払方法等を入力してください。

|            |  |        |
|------------|--|--------|
| 支払う予定の給与項目 |  | 基本給    |
|            |  | 手当     |
|            |  | 賞与・一時金 |

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 具体的な支払い方法<br>（支払時期・対象者も記載してください。） |  |
|-----------------------------------|--|

(5) 加算当年度の翌年度において加算当年度に支払うべき残額がある場合の支払い状況（当年度の残額がある場合に記載）

|   |                        | 区分2の残額がある場合<br>(1)②－(1)① |   | 区分3の残額がある場合<br>(1)②－(1)① |   | 職員処遇改善費の残額がある場合<br>(1)②－(1)① |   | 区分2     |  |
|---|------------------------|--------------------------|---|--------------------------|---|------------------------------|---|---------|--|
| ① | 加算当年度に支払うべき残額          |                          | 円 |                          | 円 |                              | 円 | 区分3     |  |
| ② | ①のうち、令和 年 月 日までに支払った金額 |                          | 円 |                          | 円 |                              | 円 | 職員処遇改善費 |  |
| ③ | 加算当年度に支払うべき残額の未払い額     |                          | 円 |                          | 円 |                              | 円 |         |  |

○賃金改善方法について

| 区分2        |        | ※令和 年度における加算残額の未払い分について、支払方法等を入力してください。 |  |
|------------|--------|-----------------------------------------|--|
| 支払う予定の給与項目 | 基本給    | 具体的な支払い方法<br>(支払時期・対象者も記載してください。)       |  |
|            | 手当     |                                         |  |
|            | 賞与・一時金 |                                         |  |

| 区分3        |        | ※令和 年度における加算残額の未払い分について、支払方法等を入力してください。 |  |
|------------|--------|-----------------------------------------|--|
| 支払う予定の給与項目 | 基本給    | 具体的な支払い方法<br>(支払時期・対象者も記載してください。)       |  |
|            | 手当     |                                         |  |
|            | 賞与・一時金 |                                         |  |

| 職員処遇改善費    |        | ※令和 年度における加算残額の未払い分について、支払方法等を入力してください。 |  |
|------------|--------|-----------------------------------------|--|
| 支払う予定の給与項目 | 基本給    | 具体的な支払い方法<br>(支払時期・対象者も記載してください。)       |  |
|            | 手当     |                                         |  |
|            | 賞与・一時金 |                                         |  |

| R7人事院勧告差額分 |         | こども家庭庁から、夏季の賞与（無い場合は7月中）までには支払うよう要請されています。支払いが令和 年3月以降になる場合は、支払予定時期について職員に必ず周知してください。 |  |
|------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 支払う予定の給与項目 | 手当      |                                                                                       |  |
|            | 賞与（一時金） |                                                                                       |  |

|                             |  |      |   |
|-----------------------------|--|------|---|
| 未払い額の発生理由・具体的な支払方法・支払時期について |  | 未払い額 | 円 |
|                             |  |      |   |

☐ 未払い額を、上記内容に従って確実に職員に支払うことを誓約します。

(6) 他施設・事業所への配分等について

|   |       | 区分2「賃金改善分」 |
|---|-------|------------|
| ① | 拠出実績額 | 円          |
| ② | 受入実績額 | 円          |

※ 第6号様式の3「同一事業者内における拠出実績額・受入実績額一覧表」を添付すること。

上記について相違ないことを証明いたします。

|          |  |
|----------|--|
| 令和 年 月 日 |  |
| 施設・事業所名称 |  |
| 代表者名     |  |

#### 資金改善明細(職員別表)

基準年度の賃金には実際に支払った額を入力してください。

ただし、定年後の再雇用・育児休業取得等の事由により加算当年度の賃金と比較することが適切でない場合、加算当年度と同等の賃金水準と仮定して計算し、加算当年度の賃金との比較に適した値で計算・入力してください。

| 市町村      | 横浜市 | 区 |
|----------|-----|---|
| 施設・事業所種別 |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 代表者職・氏名  |     |   |

[illegible]

第6号様式の3

|          |       |
|----------|-------|
| 市町村      | 横浜市 区 |
| 施設・事業所種別 |       |
| 施設・事業所番号 |       |
| 施設・事業所名称 |       |
| 代表者職・氏名  |       |

同一事業者内における拠出実績額・受入実績額一覧表

| 番号 | 都道府県名 | 市町村名 | 施設・事業所名※1 | 他事業所への拠出額<br>(円) | 他事業所からの受入<br>額<br>(円) |
|----|-------|------|-----------|------------------|-----------------------|
| 例1 | 〇〇県   | 〇〇市  | 〇〇保育所     | 200,000          |                       |
| 1  | 神奈川県  | 横浜市  |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
|    |       |      |           |                  |                       |
| 合計 |       |      |           |                  |                       |

※1 同一事業者が運営する全ての施設・事業所（特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所）について記入すること。

第7号様式

特別な事情に係る届出書（令和      年度）

横浜市長

令和    年      月      日

|          |     |   |
|----------|-----|---|
| 市町村名     | 横浜市 | 区 |
| 施設・事業所種別 |     |   |
| 施設・事業所番号 |     |   |
| 施設・事業所名称 |     |   |
| 事業者名     |     |   |
| 代表者名     |     |   |

1. 事業の継続を図るために、職員の賃金を引き下げる必要がある状況について

|                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当該法人の収支（特定教育・保育施設等に係る事業に限る。）について、利用児童数の大幅な減少などにより経営が悪化し、一定期間にわたり収支が赤字である、資金繰りに支障が生じるなどの状況について記載 |
|                                                                                                 |

2. 賃金水準の引き下げの内容

|  |
|--|
|  |
|--|

3. 経営及び賃金水準の改善の見込み

|  |
|--|
|  |
|--|

※ 経営及び賃金水準の改善に係る計画等を提出し、代替することも可。

4. 賃金水準を引き下げることについて、適切に労使の合意を得ていること等について

|                     |
|---------------------|
| 労使の合意の時期及び方法等について記載 |
|                     |